

転出者・転入者への アンケート調査結果

平成 29 年 3 月

宇 治 市

目 次

I. アンケート調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法等	1
3. 回収結果	1
II. 転入アンケート結果	2
1. 回答者の属性	2
2. 調査結果	4
III. 転出アンケート結果	11
1. 回答者の属性	11
2. 調査結果	14
IV. まとめ	26
1. アンケート調査結果の分析	26
2. 今後の地方創生施策の推進について	27
・ 転入アンケート（自由記述）	29
・ 転出アンケート（自由記述）	34
・ 参考 転入アンケート調査表	
転出アンケート調査表	

I. アンケート調査の概要

1. 調査の目的

本市では平成27年12月に宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少及び少子高齢社会への迅速かつ的確な対応と、本市の特色を活かした施策実施により、持続的に発展するまちを目指すこととしている。

この調査は、本総合戦略をもとに様々な施策の実施を図っていくとともに、今後の市政運営やまちづくりに活用するため、市外への転出者及び市外からの転入者の転出入のきっかけ等を把握し、人口流入促進・人口流出抑制に寄与する取組を検討するためアンケートを実施した。

2. 調査の方法等

18歳以上の平成26年度及び平成27年度中の転入者・転出者それぞれ2,000名(無作為に抽出)を対象に、郵送によるアンケート調査を実施。また、市民課の窓口においても転入者・転出者に対してアンケート調査を実施。

	郵送	窓口
調査対象	平成26年度及び平成27年度中の転入者・転出者	市民課の窓口において転入・転出届を提出する方
調査の実施方法	郵送により配付、回収	市民課窓口で調査票を配付、回収
調査の実施期間	平成28年11月8日 郵送 平成28年11月30日 締切	平成28年11月8日 から 平成28年12月9日 まで

－調査内容－

- ◎共通質問事項・・・性別、年齢、仕事、家族構成、転入出前後の住まい 等
- 転入アンケート・・・本市のまちづくりに対して、期待している事
- 転出アンケート・・・宇治市で生活していて良かった点、不満な点

3. 回収結果

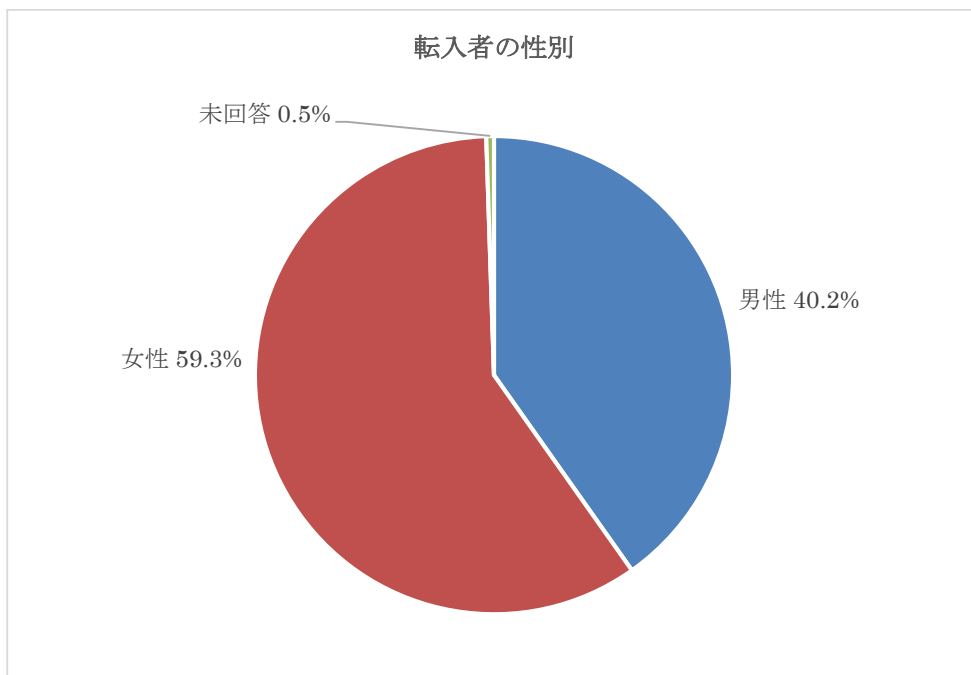
	郵送			窓口	合計
	発送	回収	回収率		
転入者	2,000名	679名	34.0%	92名	771名
転出者	2,000名	627名	31.4%	106名	733名
合計	4,000名	1,306名	32.7%	198名	1,504名

Ⅱ. 転入アンケート結果

1. 回答者の属性

(1) 回答者の性別

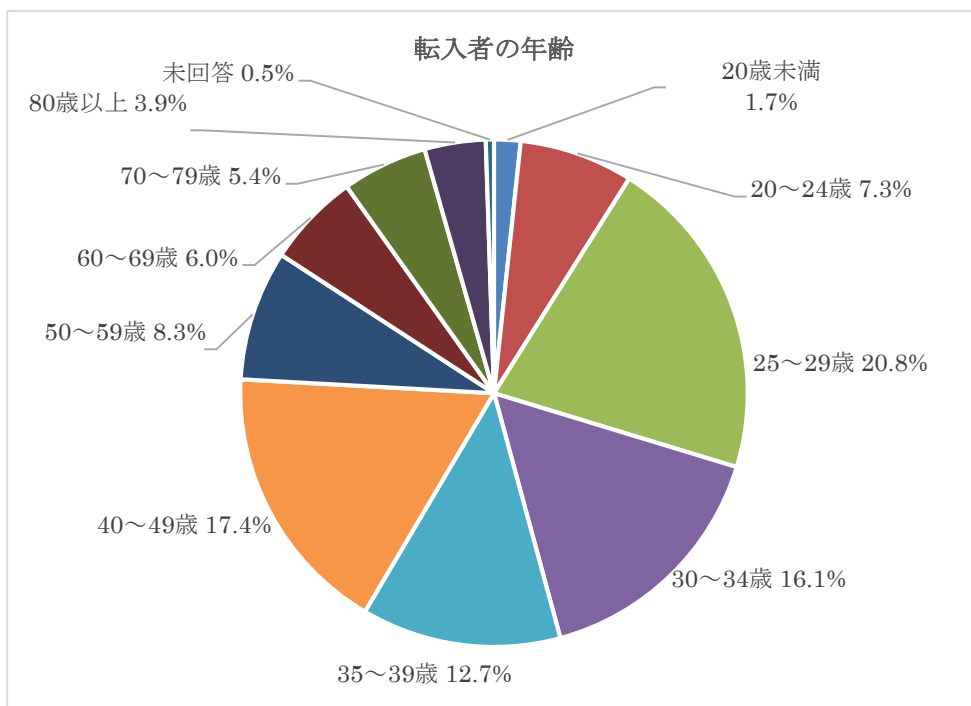
転入者の性別は「男性」が40.2%、「女性」が59.3%であった。(n=771)



(2) 回答者の年齢

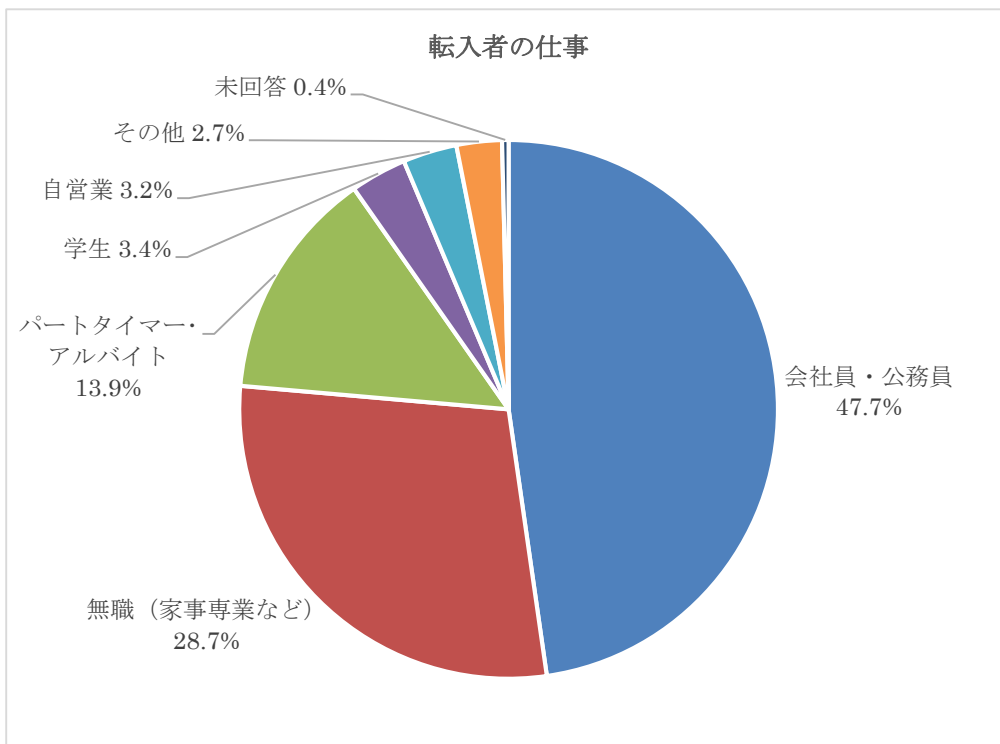
転入者の年齢は「25~29歳」が20.8%と最も多く、次いで「40~49歳」、「30~34歳」の順であった。

(n=771)



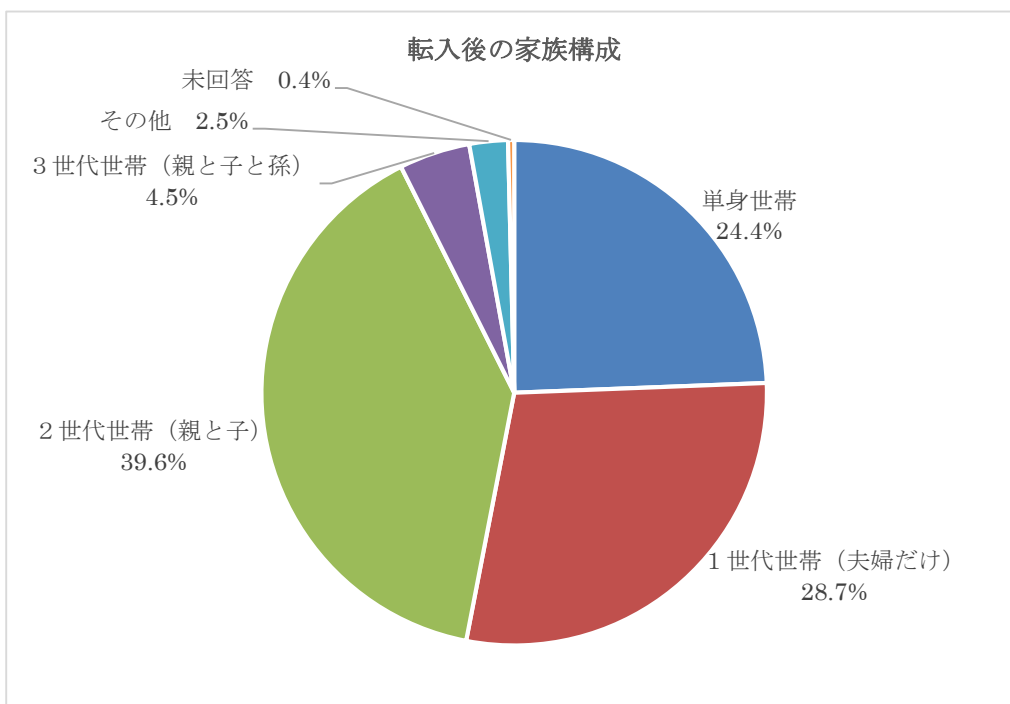
(3) 回答者の仕事

転入者の仕事は「会社員・公務員」が 47.7%と最も多く、次に「無職（家事専業など）」が 28.7%であった。（n=771）



(4) 転入後の家族構成

転入後の家族構成は「2世代世帯（親と子）」が 39.6%と最も多く、次いで「1世代世帯（夫婦だけ）」、「単身世帯」の順であった。（n=771）

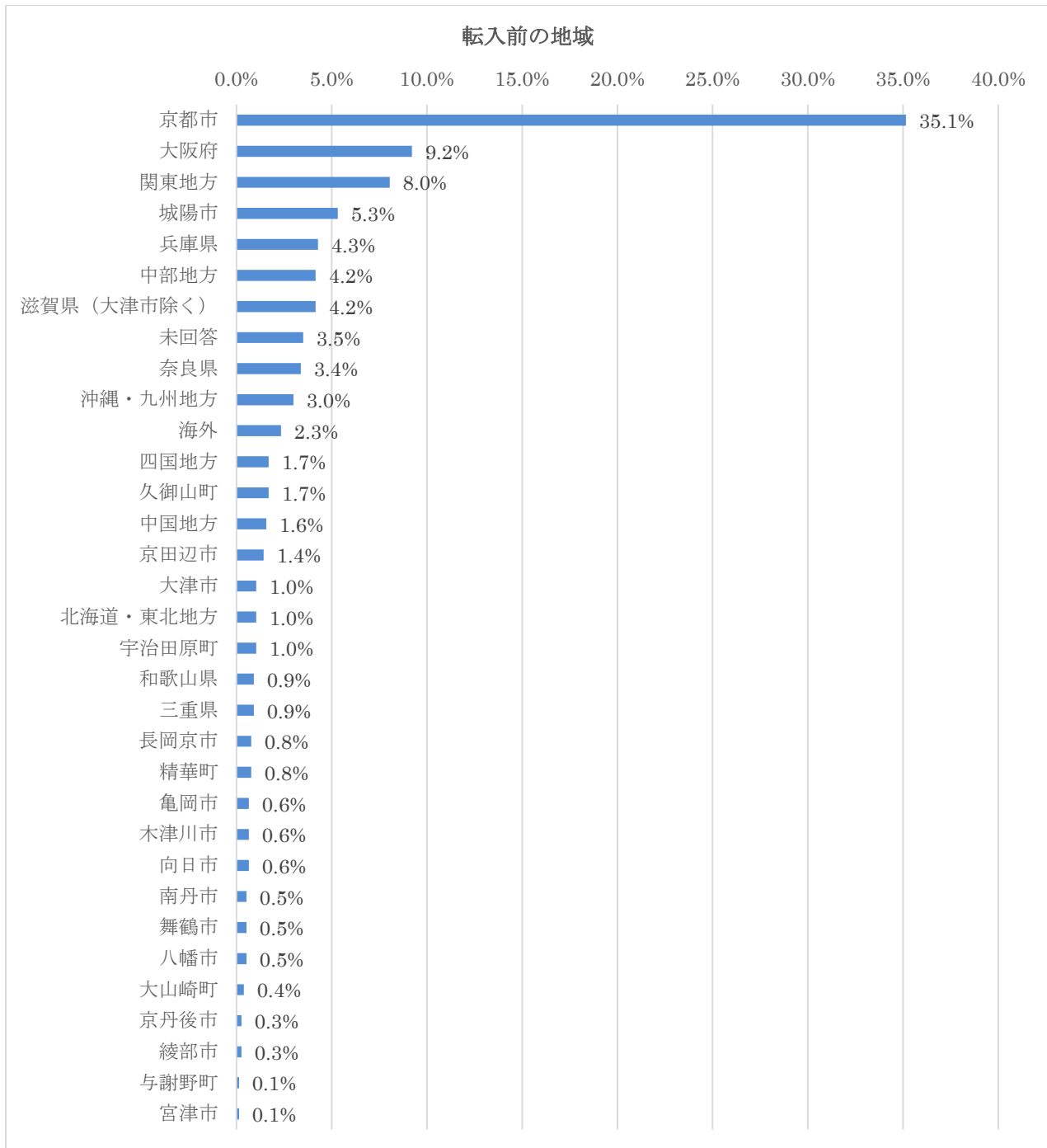


2. 調査結果

(1) 転入前の地域

転入前の地域では京都市が最も多く 35.1%、次いで大阪府が 9.2%、関東地方 8.0%の順であった。

(n=771)




(地方区分)

北海道・東北地方 : 北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
 関東地方 : 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
 中部地方 : 新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県
 中国地方 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
 四国地方 : 徳島県・香川県・愛媛県・高知県
 沖縄・九州地方 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

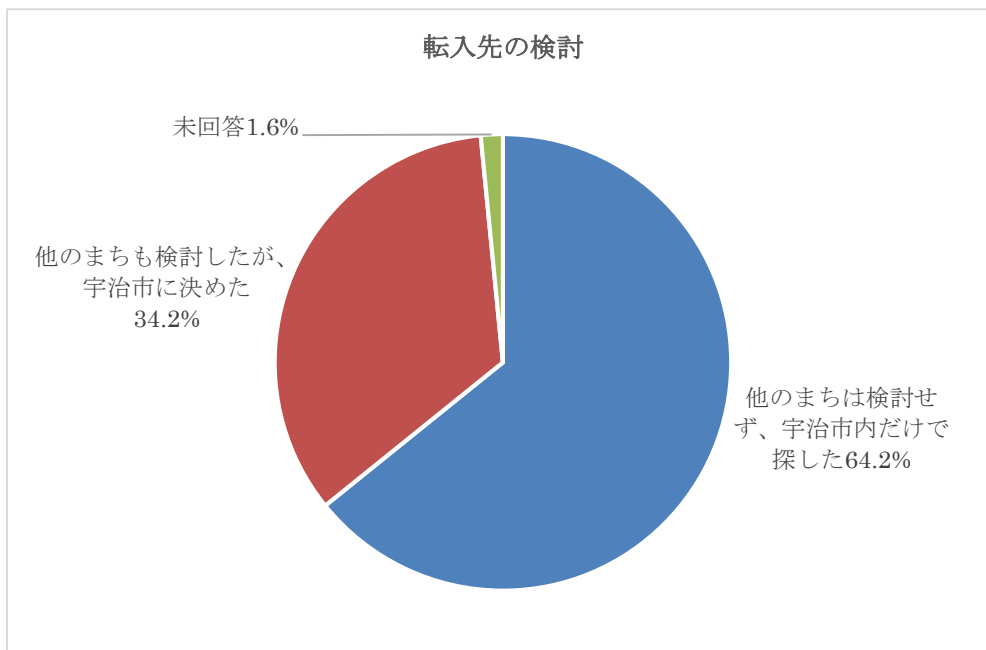
転入前の地域上位7地域の転入者の年齢

転入者の年齢 転入前の地域	転入者の年齢											未回答	総計
	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳		
1. 京都市	3	18	67	59	29	37	14	17	10	16	1	271	
2. 大阪府	0	4	17	10	12	13	4	4	3	3	1	71	
3. 関東地方	0	1	10	12	9	13	10	3	3	0	1	62	
4. 城陽市	1	4	5	1	8	8	7	3	4	0	0	41	
5. 兵庫県	2	2	6	4	6	5	2	0	2	4	0	33	
6. 中部地方	1	2	7	3	4	8	2	2	3	0	0	32	
7. 滋賀県（大津市除く）	1	3	4	7	5	5	2	2	2	1	0	32	

※  は、各地域の最も多い年齢。

(2) 転入先の検討

転入先として、宇治市以外のまちを検討したかどうかという設問に対し「他のまちは検討せず、宇治市内だけで探した」が 64.2%、「他のまちも検討したが、宇治市に決めた」が 34.2%であった。(n=771)



転入先の検討について、「他のまちも検討したが、宇治市に決めた」34.2% (264人)のうち、検討した具体的な市(複数回答)は以下のとおり。

京都市	176
城陽市	33
京田辺市	12
滋賀県	8
長岡京市	6
神戸市	5
向日市	4
久御山町	4
枚方市	4
八幡市	4
大津市	3
その他	25




京都市を検討した転入者が住まいを選ぶきっかけ・理由(上位5つ)

きっかけ・理由	人数
住宅の都合(価格、広さなど)	70
結婚・出産など世帯構成の変動	62
仕事の都合(就職・転職・退職など)	53
電車・バスなどの交通の便が良い	53
親族との同居・近居	40

(3) 転入前後の住居形態

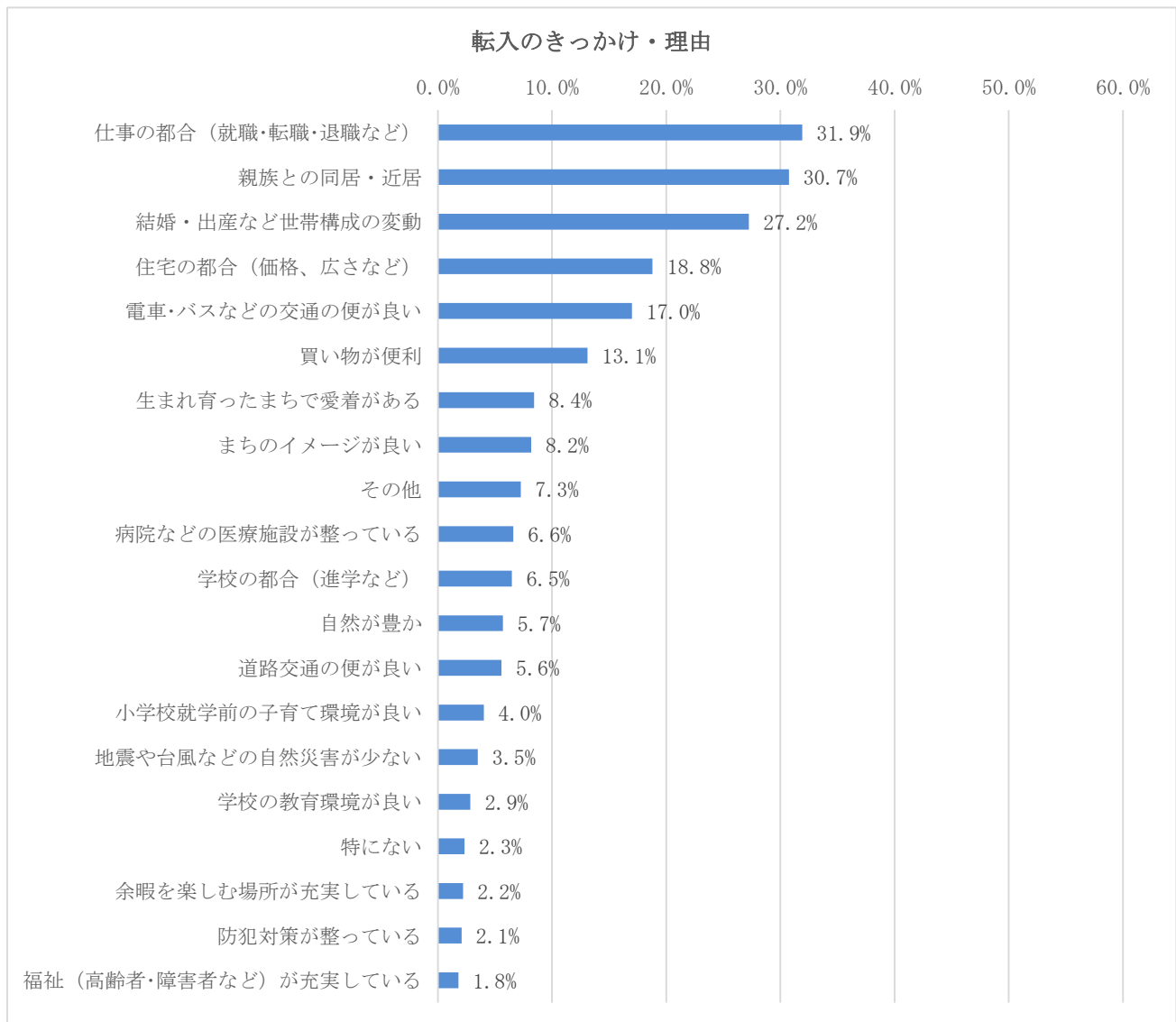
転入前後の住居形態は「賃貸→賃貸」が 22.6%、「賃貸→持ち家（戸建て）」が 16.3%、「持ち家（戸建て）→賃貸」が 11.7%の順であった。（n=771）

転入前の住居 \ 転入後の住居	持ち家 (戸建て)	持ち家 (分譲マン ションなど)	賃貸	社宅・寮・ 下宿など	その他	未回答	総計
持ち家（戸建て）	8.8%	1.7%	11.7%	1.8%	1.7%	2.1%	27.8%
持ち家（分譲マンションなど）	2.2%	1.7%	1.3%	0.3%	0.5%	0.9%	6.9%
賃貸	16.3%	2.1%	22.6%	2.7%	1.8%	0.9%	46.4%
社宅・寮・下宿など	2.7%	1.0%	1.9%	4.3%	0.1%	1.2%	11.3%
その他	0.9%	0.3%	0.4%	0.0%	0.5%	0.1%	2.2%
未回答	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	4.7%	5.4%
総計	31.0%	6.7%	38.3%	9.5%	4.7%	9.9%	100.0%

※  は、全回答のなかで割合が高い住居形態（上位3つ）。

(4) 転入のきっかけ・理由

転入者の新たな住まいを決める際のきっかけ・理由は「仕事の都合（就職・転職・退職など）」が 31.9%、「親族との同居・近居」が 30.7%、「結婚・出産など世帯構成の変動」が 27.2%であった。（n=771・複数回答）



(5) 年齢別にみた転入のきっかけ・理由

50歳代までは「仕事の都合（就職・転出・退職など）」、「結婚・出産など世帯構成の変動」、「親族との同居・近居」をきっかけ・理由とする転入が多く、60歳代以降は「親族との同居・近居」が多かった。

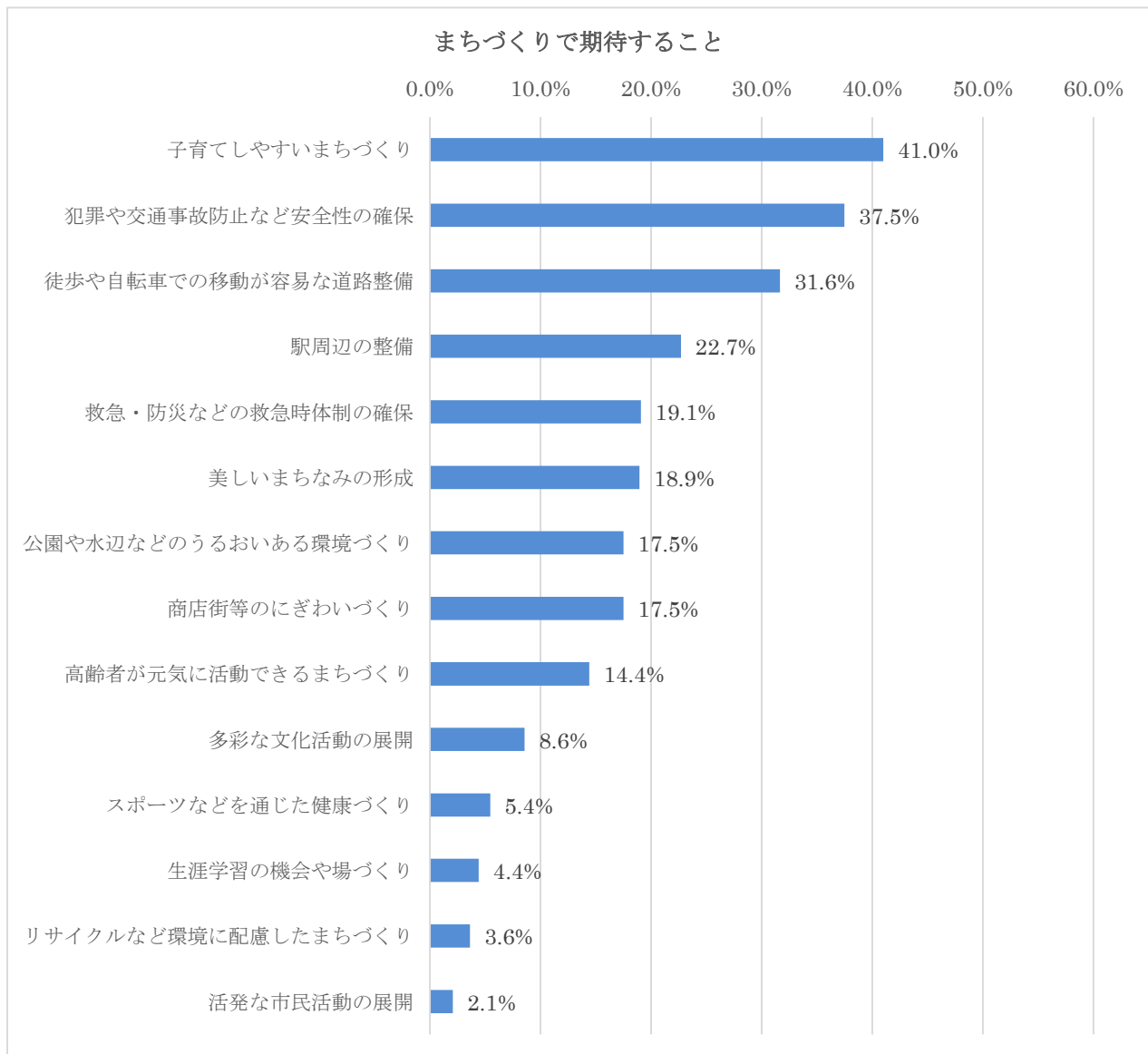
(n=771・複数回答)

転入の きっかけ・理由	親族との同居・近居	結婚・出産など世帯構成の変動	仕事の都合（就職・転職・退職など）	学校の都合（進学など）	住宅の都合（価格、広さなど）	電車・バスなどの交通の便が良い	道路交通の便が良い	生まれ育ったまちで愛着がある	まちのイメージが良い	防犯対策が整っている	地震や台風などの自然災害が少ない	自然が豊か	病院などの医療施設が整っている	福祉（高齢者・障害者など）が充実している	小学校就学前の子育て環境が良い	学校の教育環境が良い	買い物が便利	余暇を楽しむ場所が充実している	特にない	その他
転入者の年齢																				
20歳未満	4	1	3	5	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
20～24歳	8	11	25	7	6	5	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	2	0	2	0
25～29歳	36	71	58	7	25	28	8	16	13	3	6	8	8	0	7	4	22	2	2	3
30～34歳	40	58	44	2	35	31	11	20	18	3	6	9	7	2	12	9	21	2	1	5
35～39歳	37	30	36	10	15	14	5	9	6	1	3	7	4	0	4	2	11	0	1	5
40～49歳	41	31	49	14	28	20	9	13	9	2	5	6	4	0	6	4	14	1	0	12
50～59歳	20	7	23	5	13	13	3	4	1	0	1	3	4	1	0	0	8	3	2	7
60～69歳	19	1	5	0	12	11	4	2	9	3	2	5	9	2	0	0	11	3	1	5
70～79歳	14	0	3	0	6	6	1	1	3	3	3	5	8	5	0	0	5	4	4	12
80歳以上	16	0	0	0	2	1	1	0	2	1	1	1	7	4	0	0	5	2	3	5
未回答	2	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
総計	237	210	246	50	145	131	43	65	63	16	27	44	51	14	31	22	101	17	18	56

※ は、各年齢の最も多いきっかけ・理由。

(6) まちづくりで期待すること

転入者がまちづくりで期待することは「子育てしやすいまちづくり」が 41.0%、「犯罪や交通事故防止など安全性の確保」が 37.5%、「徒歩や自転車での移動が容易な道路整備」が 31.6%であった。(n=771・複数回答)

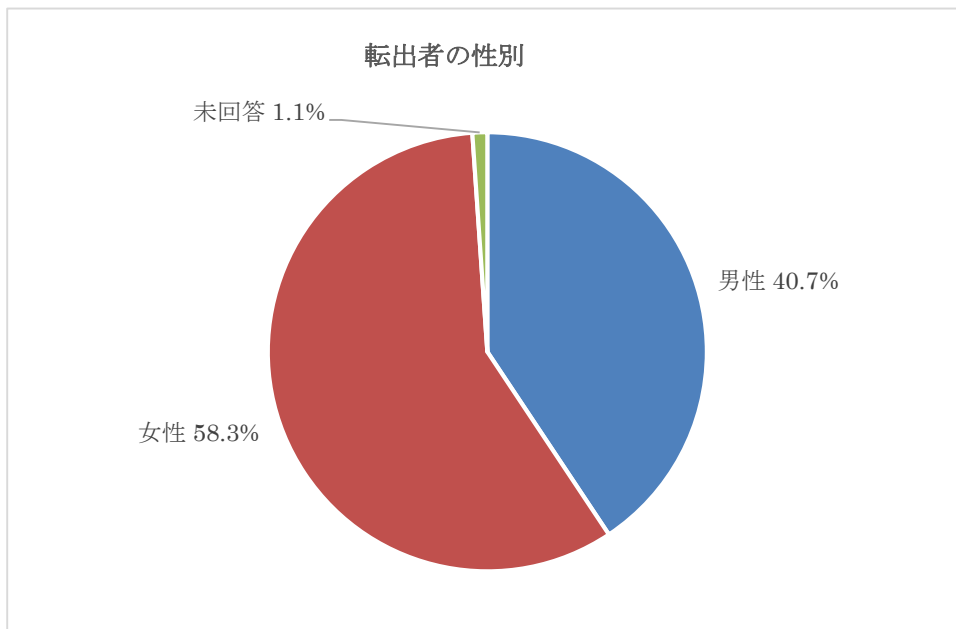


Ⅲ. 転出アンケート結果

1. 回答者の属性

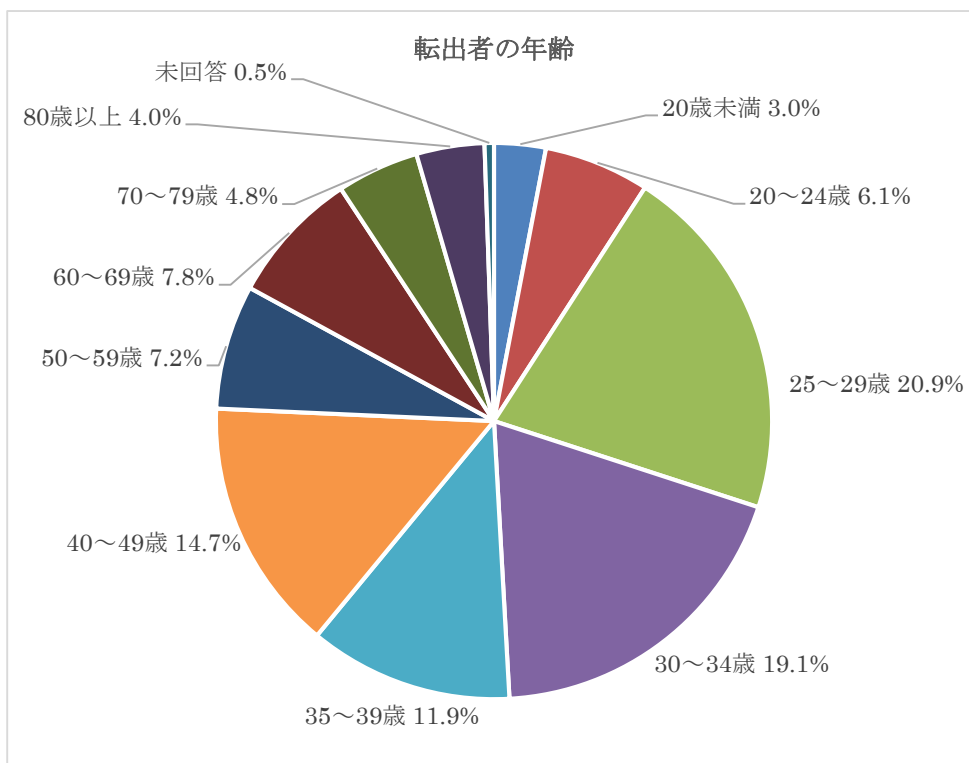
(1) 回答者の性別

転出者の性別は「男性」が40.7%、「女性」が58.3%であった。(n=733)



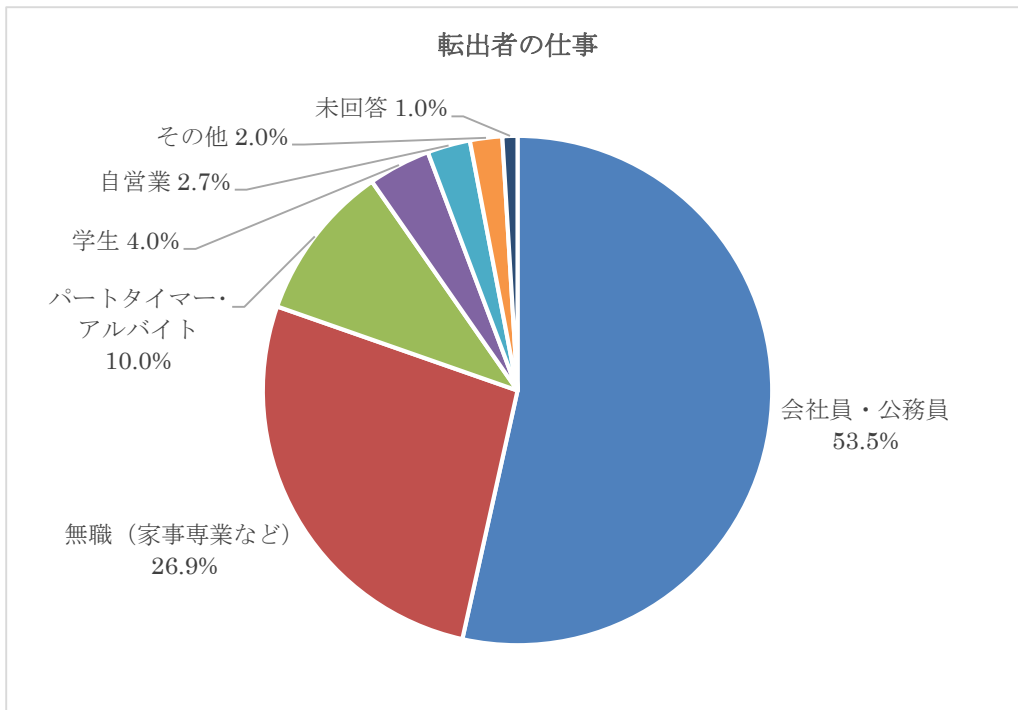
(2) 回答者の年齢

転出者の年齢は「25~29歳」が20.9%と最も多く、次いで「30~34歳」、「40~49歳」の順であった。(n=733)



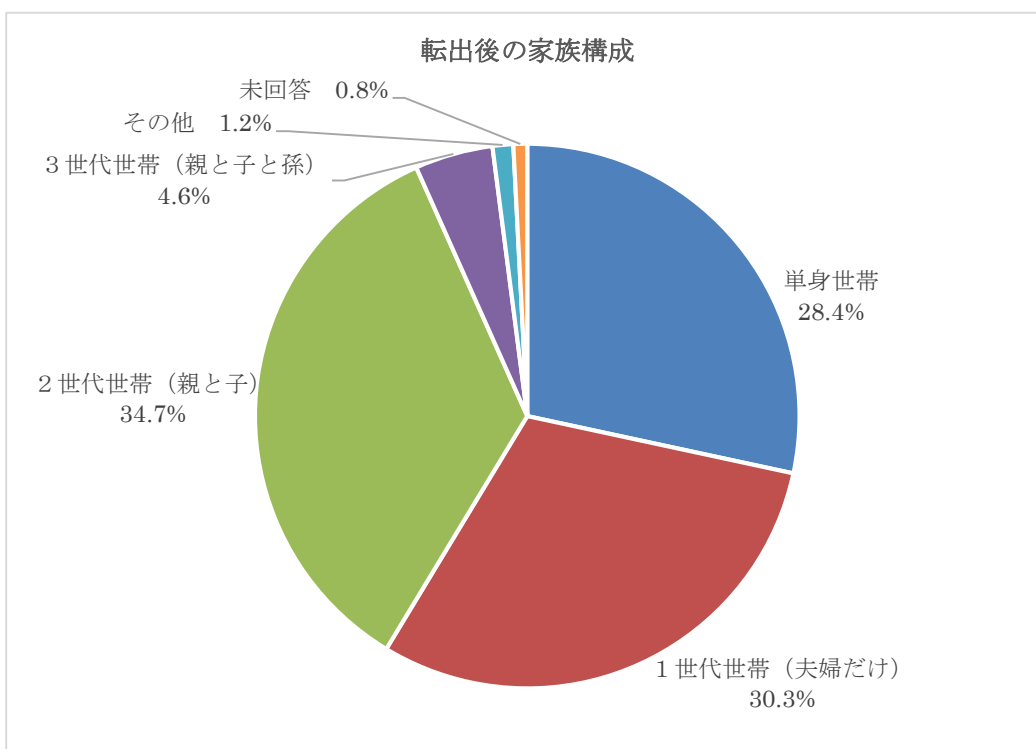
(3) 回答者の仕事

転出者の仕事は「会社員・公務員」が 53.5%と最も多く、次に「無職（家事専業など）」が 26.9%であった。（n=733）



(4) 転出後の家族構成

転出後の家族構成は「2世代世帯（親と子）」が 34.7%と最も多く、次いで「1世代世帯（夫婦だけ）」、「単身世帯」の順であった。（n=733）

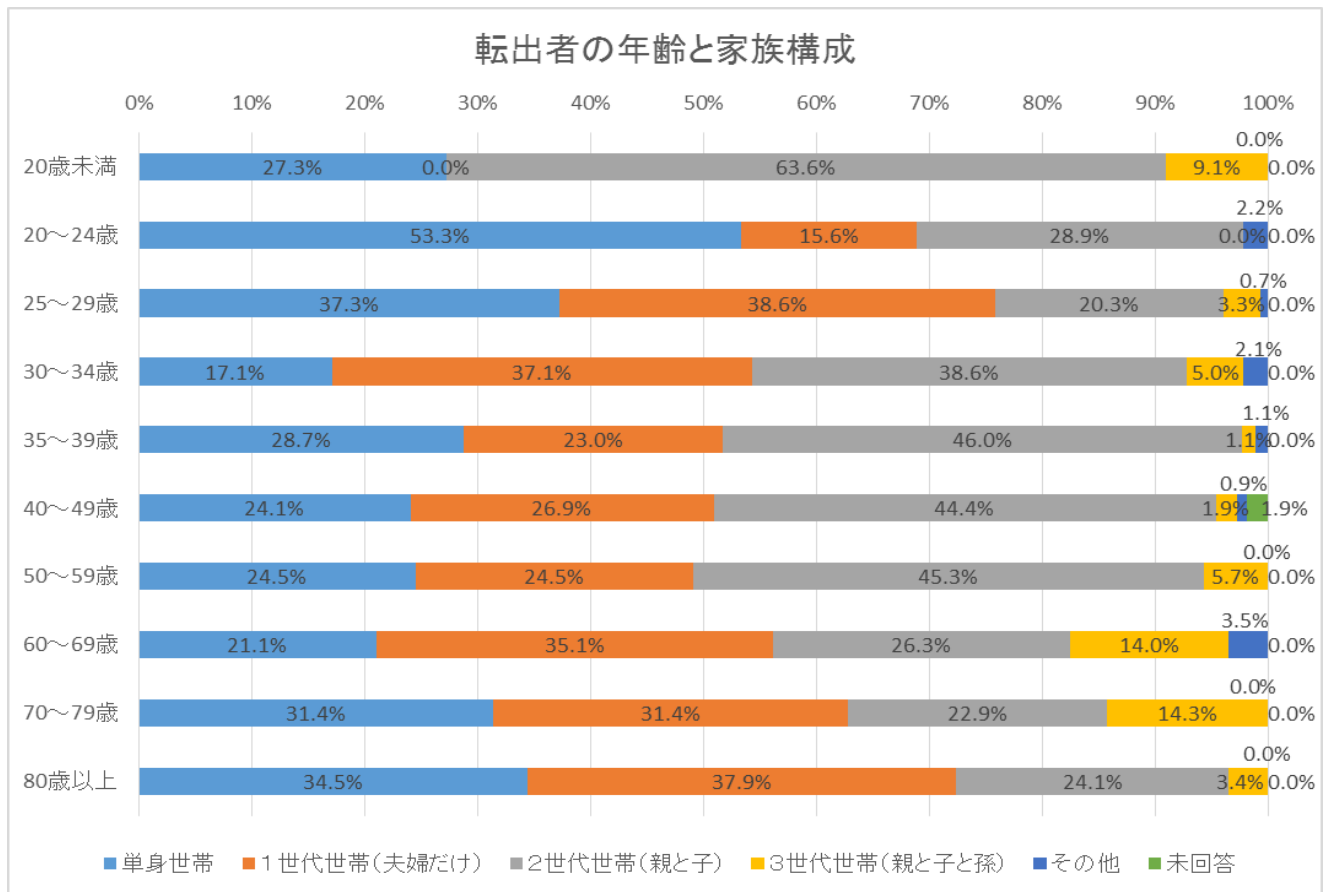


(5) 転出者の年齢と家族構成

転出後の家族構成では、子のいない世帯（単身世帯及び1世代世帯（夫婦だけ））の割合が高く、「20歳未満」「50～59歳」を除くすべての年代で、子のいない世帯が半数以上を占めている。（n=733）

転出者の年齢と家族構成	単身世帯	1世代世帯 (夫婦だけ)	2世代世帯 (親と子)	3世代世帯 (親と子と孫)	その他	未回答	総計
20歳未満	6	0	14	2	0	0	22
20～24歳	24	7	13	0	1	0	45
25～29歳	57	59	31	5	1	0	153
30～34歳	24	52	54	7	3	0	140
35～39歳	25	20	40	1	1	0	87
40～49歳	26	29	48	2	1	2	108
50～59歳	13	13	24	3	0	0	53
60～69歳	12	20	15	8	2	0	57
70～79歳	11	11	8	5	0	0	35
80歳以上	10	11	7	1	0	0	29
未回答	0	0	0	0	0	4	4
総計	208	222	254	34	9	6	733

※ は、各年齢で子のいない世帯が半数以上を占めているもの。

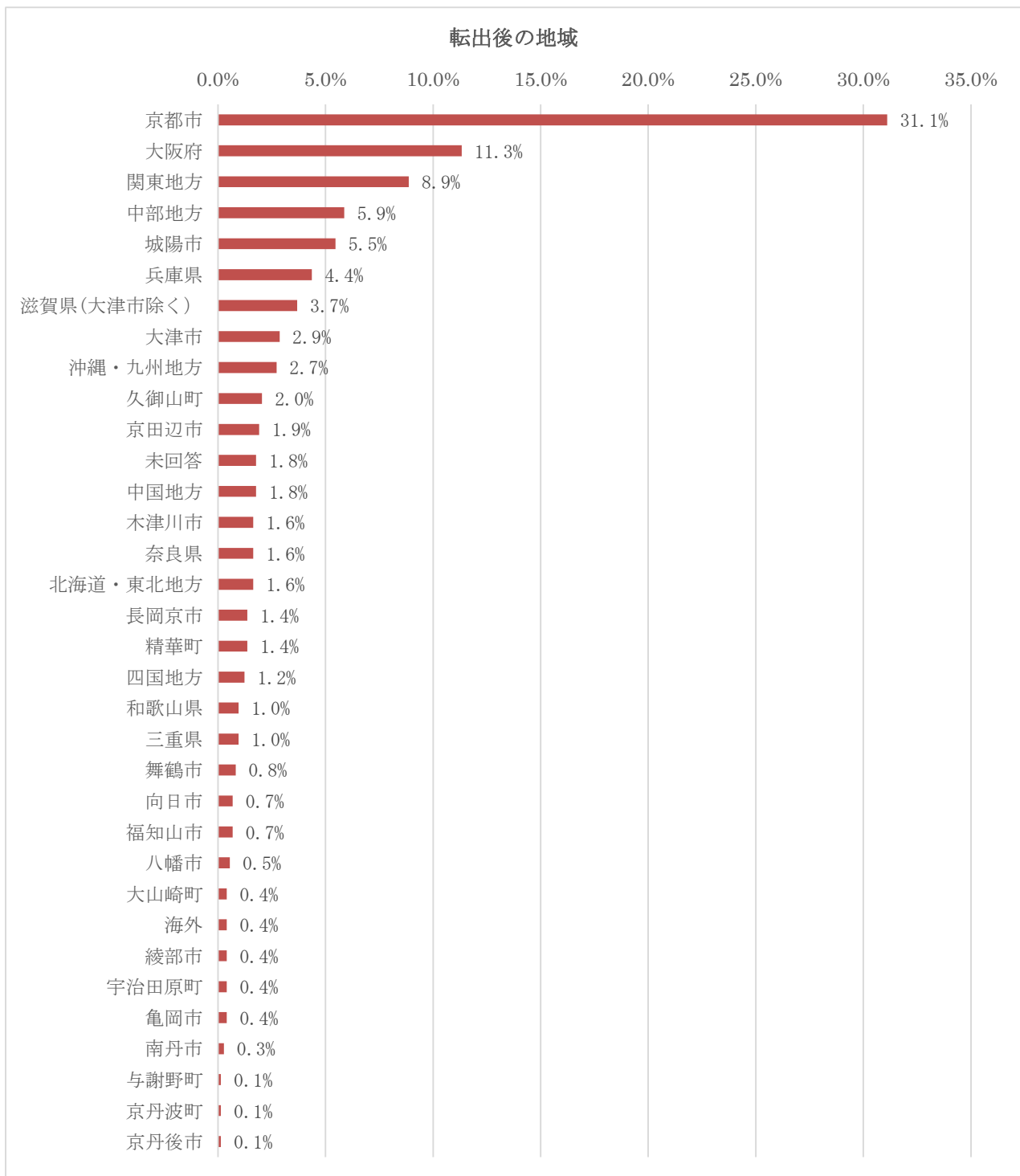


2. 調査結果

(1) 転出後の地域

転出後の地域では京都市が最も多く 31.1%、次いで大阪府が 11.3%、関東地方 8.9%の順であった。

(n=733)




(地方区分)

北海道・東北地方：北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
 関東地方：茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
 中部地方：新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県
 中国地方：鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
 四国地方：徳島県・香川県・愛媛県・高知県
 沖縄・九州地方：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

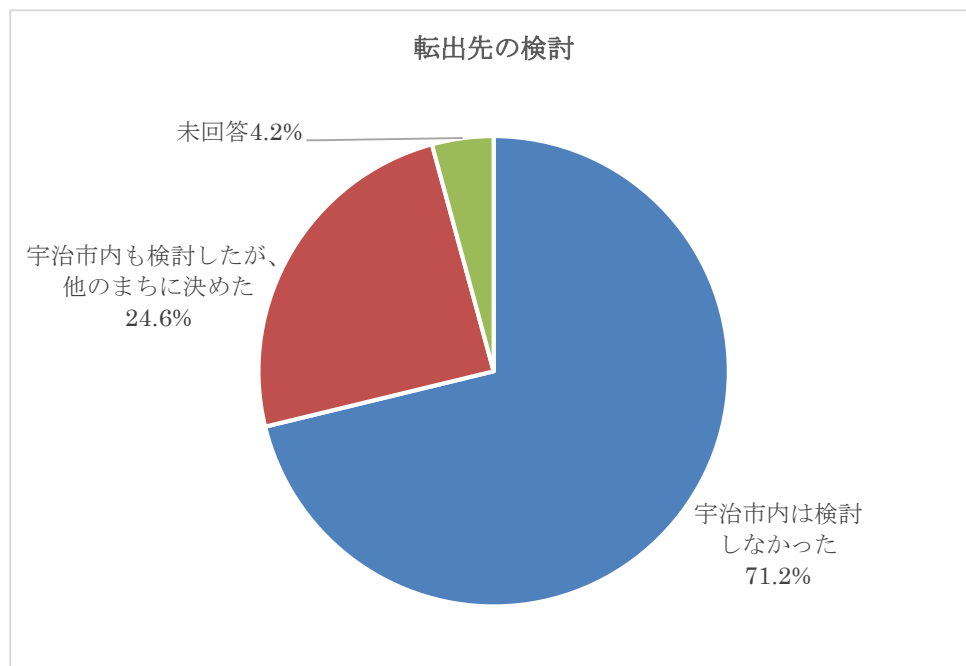
転出後の地域上位7地域の転出者の年齢

転出者の年齢 転出後の地域	転出者の年齢										未回答	総計
	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上		
1. 京都市	10	7	51	43	30	34	16	17	13	7	0	228
2. 大阪府	0	9	24	21	10	10	2	1	3	3	0	83
3. 関東地方	4	11	16	7	8	14	1	0	1	3	0	65
4. 中部地方	0	1	7	9	7	7	5	3	1	3	0	43
5. 城陽市	0	1	10	6	3	5	5	7	1	2	0	40
6. 兵庫県	0	1	6	6	2	4	6	4	3	0	0	32
7. 滋賀県(大津市除く)	1	2	6	7	2	2	1	5	1	0	0	27

※  は、各地域の最も多い年齢。

(2) 転出先の検討

転出先として、宇治市内を検討したかどうかという設問に対し「宇治市内は検討しなかった」が71.2%、「宇治市内も検討したが、他のまちに決めた」が24.6%であった。(n=733)



(3) 転出前後の住居形態

転出前後の住居形態は「持ち家（戸建て）→賃貸」が19.0%、「賃貸→賃貸」16.8%、「持ち家（戸建て）→持ち家（戸建て）」が10.6%の順であった。(n=733)

転出前の住居 \ 転出後の住居	持ち家 (戸建て)	持ち家 (分譲マンションなど)	賃貸	社宅・寮・ 下宿など	その他	未回答	総計
持ち家（戸建て）	10.6%	4.4%	19.0%	2.5%	1.4%	0.8%	38.6%
持ち家（分譲マンションなど）	2.2%	1.8%	2.9%	0.5%	0.1%	1.0%	8.5%
賃貸	9.1%	1.6%	16.8%	1.9%	0.5%	2.0%	32.1%
社宅・寮・下宿など	3.7%	0.4%	4.2%	3.1%	0.1%	0.7%	12.3%
その他	1.1%	0.3%	1.9%	0.0%	0.3%	0.1%	3.7%
未回答	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	4.5%	4.9%
総計	26.7%	8.5%	45.2%	8.0%	2.5%	9.1%	100.0%

※ は、全回答のなかで割合が高い住居形態（上位3つ）。

(4) 転出後の地域と住居形態

転出後の住居形態は「賃貸」が最も多く、京都市への転出では「賃貸」が「持ち家（戸建て・分譲マンションなど）」の約1.5倍であった。

滋賀県や宇治市以南の市町への転出では、「持ち家（戸建て）」が多くなっている。(n=733)

転出後の地域 \ 転出後の住居	持ち家 (戸建て)	持ち家 (分譲マンションなど)	賃貸	社宅・寮・ 下宿など	その他	未回答	総計
京都市	47	32	118	10	4	17	228
大阪府	14	5	46	7	3	8	83
関東地方	2	5	37	16	1	4	65
中部地方	12	2	21	4	1	3	43
城陽市	20	1	10	1	0	8	40
兵庫県	10	2	15	3	0	2	32
滋賀県（大津市除く）	11	0	9	3	1	3	27
大津市	10	3	5	1	1	1	21
沖縄・九州地方	6	0	8	2	0	4	20
久御山町	6	0	8	0	0	1	15
京田辺市	9	0	2	0	1	2	14
未回答	1	4	4	2	0	2	13
中国地方	3	1	6	2	1	0	13
木津川市	10	0	0	0	0	2	12
奈良県	6	1	3	1	0	1	12
北海道・東北地方	1	1	8	1	0	1	12
長岡京市	2	1	6	0	0	1	10
精華町	6	1	2	1	0	0	10
四国地方	1	0	6	1	1	0	9
和歌山県	2	0	3	0	2	0	7
三重県	1	0	4	0	1	1	7
舞鶴市	3	0	1	2	0	0	6
向日市	1	2	0	0	0	2	5
福知山市	3	0	2	0	0	0	5
八幡市	0	1	2	0	0	1	4
大山崎町	1	0	2	0	0	0	3
海外	0	0	0	0	1	2	3
綾部市	1	0	2	0	0	0	3
宇治田原町	3	0	0	0	0	0	3
亀岡市	2	0	1	0	0	0	3
南丹市	2	0	0	0	0	0	2
与謝野町	0	0	0	1	0	0	1
京丹波町	0	0	0	1	0	0	1
京丹後市	0	0	0	0	0	1	1
総計	196	62	331	59	18	67	733



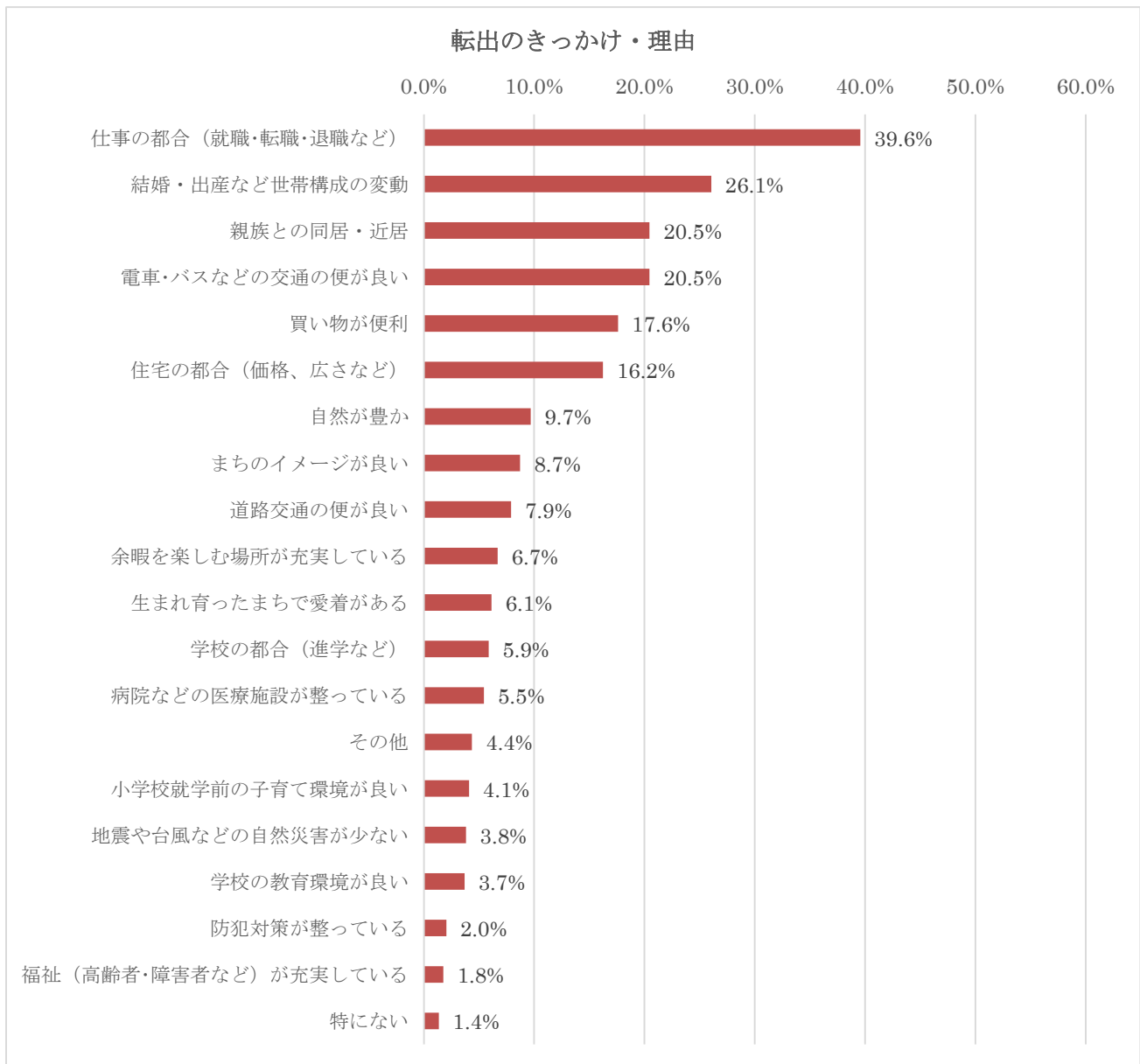
※ は、各地域の最も多い住居形態。

子育て世帯（就学前及び小学生のいる世帯）の数と割合

転出後の地域 \ 転出後の住居	持ち家（戸建て）		
	うち子育て 世帯	割合	
城陽市	20	4	20.0%
滋賀県（大津市除く）	11	6	54.5%
大津市	10	3	30.0%
京田辺市	9	6	66.7%
木津川市	10	6	60.0%
精華町	6	5	83.3%

(5) 転出のきっかけ・理由

転出者の新たな住まいを決める際のきっかけ・理由は「仕事の都合（就職・転職・退職など）」が 39.6%、「結婚・出産など世帯構成の変動」が 26.1%、「親族との同居・近居」「電車・バスなどの交通の便が良い」がそれぞれ 20.5%であった。（n=733・複数回答）



(6) 年齢別にみた転出のきっかけ・理由

50歳代までは「仕事の都合(就職・転出・退職など)」、「結婚・出産など世帯構成の変動」をきっかけ・理由とする転出が多く、60歳代以降は「親族との同居・近居」が多かった。(n=733・複数回答)

転出の きっかけ・理由 転出者の年齢	親族との同居・近居	結婚・出産など世帯構成の変動	仕事の都合(就職・転職・退職など)	学校の都合(進学など)	住宅の都合(価格、広さなど)	電車・バスなどの交通の便が良い	道路交通の便が良い	生まれ育ったまちで愛着がある	まちのイメージが良い	防犯対策が整っている	地震や台風などの自然災害が少ない	自然が豊か	病院などの医療施設が整っている	福祉(高齢者・障害者など)が充実している	小学校就学前の子育て環境が良い	学校の教育環境が良い	買い物が良い	余暇を楽しむ場所が充実している	特にない	その他
20歳未満	4	1	5	10	6	6	0	2	1	1	0	2	0	0	0	0	4	0	0	1
20～24歳	5	9	24	7	4	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4	2	0	0
25～29歳	13	65	81	1	21	37	18	2	8	1	2	5	3	1	1	0	30	11	1	2
30～34歳	31	62	52	4	19	22	5	8	11	0	5	13	2	0	14	7	10	3	1	1
35～39歳	12	27	39	9	14	19	9	9	12	3	4	8	4	1	8	6	17	4	2	2
40～49歳	17	17	53	5	19	20	6	3	9	2	3	7	4	1	4	9	15	9	2	3
50～59歳	14	3	20	5	11	13	7	7	9	1	3	11	8	1	0	2	13	3	0	6
60～69歳	23	4	10	2	14	16	8	9	8	4	5	14	10	1	1	2	19	11	0	9
70～79歳	15	1	2	0	9	10	2	2	4	2	2	6	5	5	1	1	9	5	3	5
80歳以上	15	1	3	0	1	6	2	2	1	1	4	3	4	3	0	0	7	1	0	3
未回答	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0
総計	150	191	290	43	119	150	58	45	64	15	28	71	40	13	30	27	129	49	10	32

※ は、各年齢の最も多いきっかけ・理由。

(7) 転出地域別のきっかけ・理由

新たな住まいを決めるきっかけ・理由として、関東地方や中部地方など遠方への転出では、「仕事の都合（就職・転出・退職など）」が多いが、京都市への転出では「電車・バスなどの交通の便が良い」が最も多かった。また、大阪府への転出も、「仕事の都合（就職・転出・退職など）」が多かった。

大津市への転出は「自然が豊か」が最も多かった。(n=733・複数回答)

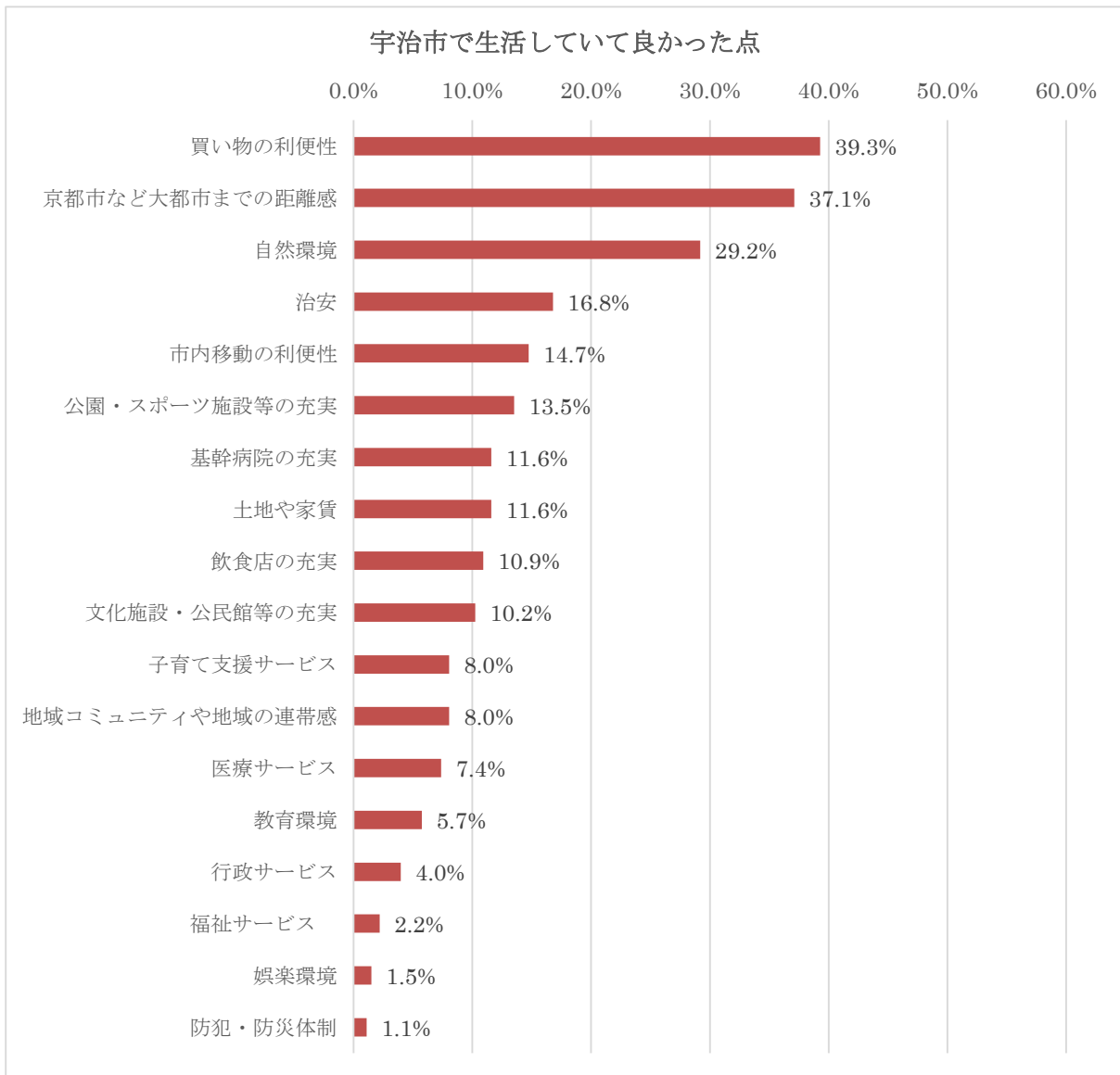
転出の きっかけ・理由	親族との同居・近居	結婚・出産など世帯構成の変動	仕事の都合（就職・転職・退職など）	学校の都合（進学など）	住宅の都合（価格、広さなど）	電車・バスなどの交通の便が良い	道路交通の便が良い	生まれ育ったまちで愛着がある	まちのイメージが良い	防犯対策が整っている	地震や台風などの自然災害が少ない	自然が豊か	病院などの医療施設が整っている	福祉（高齢者・障害者など）が充実している	小学校就学前の子育て環境が良い	学校の教育環境が良い	買い物が便利	余暇を楽しむ場所が充実している	特にない	その他
京都市	43	76	74	14	48	82	25	8	24	9	6	14	17	6	4	9	65	23	3	9
大阪府	11	29	43	2	10	21	6	4	7	1	3	1	5	1	2	0	16	6	1	3
関東地方	6	10	45	5	5	12	5	2	4	0	1	0	4	1	2	4	9	2	0	2
中部地方	13	5	25	1	1	1	2	5	0	0	2	2	0	0	0	0	3	0	1	0
城陽市	11	11	4	0	10	8	2	5	3	0	2	5	2	2	1	0	9	0	0	4
兵庫県	8	4	21	1	1	6	3	3	3	1	0	6	4	1	1	1	5	4	0	1
滋賀県（大津市除く）	7	6	9	1	3	2	2	1	2	1	1	4	1	0	2	1	3	1	0	1
大津市	4	6	3	2	5	2	2	1	3	0	0	9	2	0	0	0	1	4	0	1
沖縄・九州地方	9	3	9	0	1	1	1	4	0	0	0	3	0	0	1	1	1	1	0	2
久御山町	4	7	5	3	5	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0
京田辺市	3	4	3	3	5	2	1	0	2	0	1	2	0	0	2	1	2	0	0	2
未回答	1	1	3	0	2	2	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	2	2
中国地方	4	0	6	0	0	2	0	3	1	0	5	2	2	0	1	0	2	2	0	0
木津川市	3	2	4	2	6	2	0	0	3	1	2	3	0	0	3	4	1	1	0	0
奈良県	7	3	4	1	1	2	1	3	2	0	1	3	0	0	3	1	2	0	0	1
北海道・東北地方	1	0	6	3	0	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0
長岡京市	0	7	3	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精華町	2	2	0	1	5	0	0	0	2	0	0	2	1	0	3	2	2	0	1	0
四国地方	3	2	4	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
和歌山県	2	1	4	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
三重県	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
舞鶴市	1	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
向日市	1	0	1	0	2	2	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0
福知山市	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
八幡市	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大山崎町	0	2	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
海外	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
綾部市	1	2	2	1	1	1	1	0	1	1	0	2	1	1	1	1	1	1	0	0
宇治田原町	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
亀岡市	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	0
南丹市	1	1	0	0	2	0	0	0	1	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0
与謝野町	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京丹波町	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京丹後市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	150	191	290	43	119	150	58	45	64	15	28	71	40	13	30	27	129	49	10	32

※ は、各地域の最も多いきっかけ・理由。

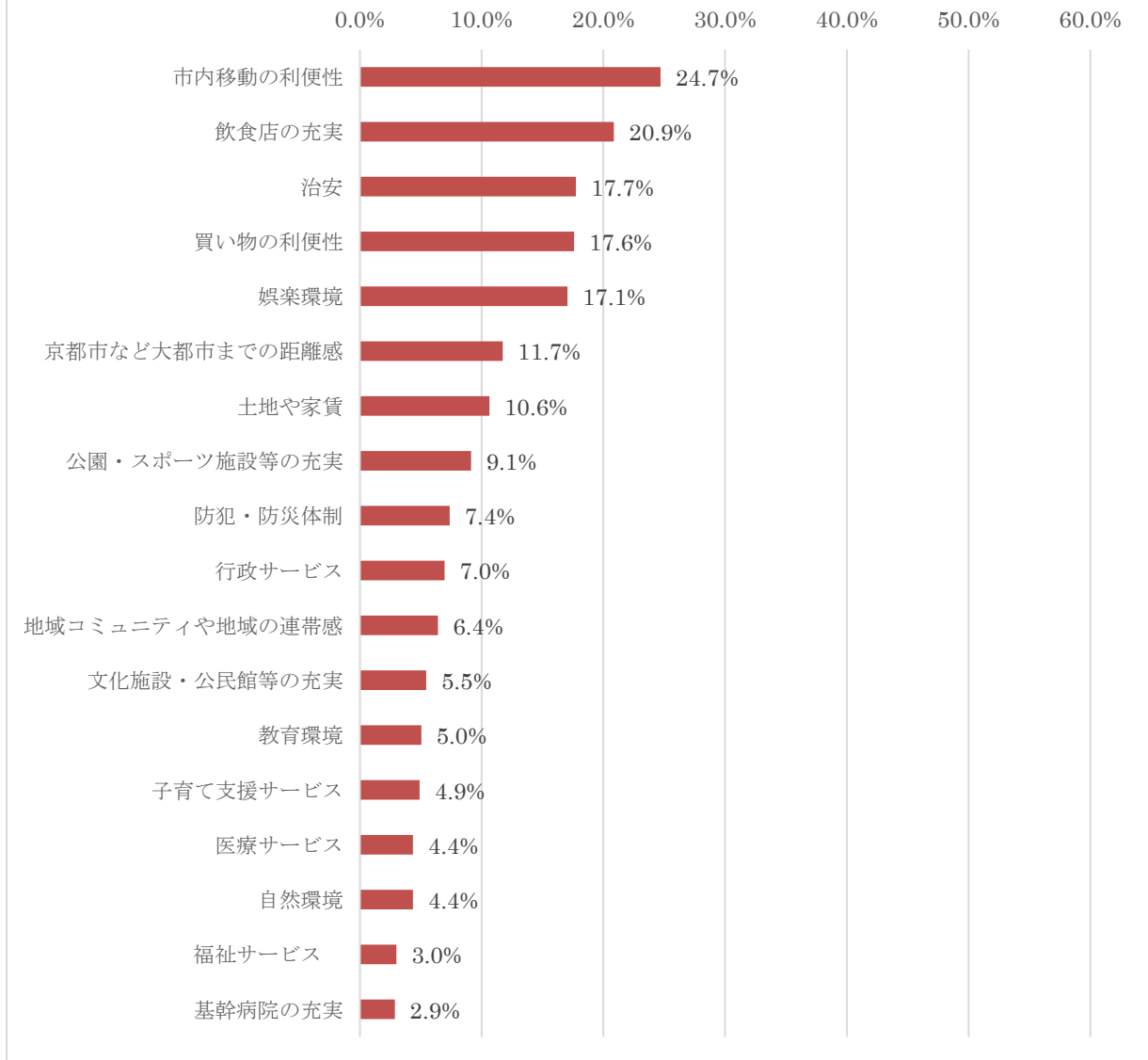
(8) 宇治市で生活していて良かった点・不満な点

転出者が宇治市で生活していて良かった点は「買い物の利便性」が 39.3%、「京都市など大都市までの距離感」が 37.1%、「自然環境」が 29.2%であった。

一方で不満な点は「市内移動の利便性」が 24.7%、「飲食店の充実」が 20.9%、「治安」が 17.7%であった。(n=733・複数回答)



宇治市で生活していて不満な点



(9) 年齢ごとの宇治市で生活していて良かった点・不満な点

宇治市で生活していて良かった点は、20歳代と30歳代前半までは「京都市など大都市までの距離感」の割合が高く、35歳以上では「買い物の利便性」の割合が高かった。

不満な点は、特に35歳以上で「市内移動の利便性」の割合が高かった。(n=733・複数回答)

生活していて 良かった点	転出者の年齢																		
	買い物の利便性	飲食店の充実	子育て支援サービス	教育環境	基幹病院の充実	医療サービス	福祉サービス	行政サービス	公園・スポーツ施設等の充実	文化施設・公民館等の充実	娯楽環境	市内移動の利便性	京都市など大都市までの距離感	防犯・防災体制	治安	自然環境	地域コミュニティや地域の連帯感	土地や家賃	総計
20歳未満	11	4	0	4	2	1	0	0	5	3	0	5	8	0	3	10	5	2	63
20～24歳	20	6	2	3	2	2	0	0	2	4	1	8	22	0	12	12	2	4	102
25～29歳	48	18	7	9	10	9	0	6	20	21	3	25	61	4	31	49	15	19	355
30～34歳	54	22	19	11	18	11	3	8	18	10	2	21	58	1	27	32	11	15	341
35～39歳	40	12	10	2	9	8	2	1	17	10	1	10	28	0	12	19	2	15	198
40～49歳	38	5	18	4	13	10	1	3	15	6	2	18	32	1	19	34	9	18	246
50～59歳	23	7	1	5	8	0	1	1	8	7	1	4	16	0	7	16	5	4	114
60～69歳	25	3	2	1	9	7	3	3	8	4	0	9	23	0	9	21	3	4	134
70～79歳	14	1	0	0	7	2	3	5	2	6	1	6	15	1	1	13	2	3	82
80歳以上	13	1	0	2	5	4	3	1	4	3	0	2	9	1	2	7	5	1	63
未回答	2	1	0	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	9
総計	288	80	59	42	85	54	16	29	99	75	11	108	272	8	123	214	59	85	1707

※ は、各年齢の最も多い良かった点。

生活していて 不満な点	転出者の年齢																		
	買い物の利便性	飲食店の充実	子育て支援サービス	教育環境	基幹病院の充実	医療サービス	福祉サービス	行政サービス	公園・スポーツ施設等の充実	文化施設・公民館等の充実	娯楽環境	市内移動の利便性	京都市など大都市までの距離感	防犯・防災体制	治安	自然環境	地域コミュニティや地域の連帯感	土地や家賃	総計
20歳未満	3	3	1	3	1	1	0	2	1	1	3	2	6	2	5	2	1	5	42
20～24歳	6	8	0	1	0	0	0	2	9	1	16	6	4	4	9	4	1	5	76
25～29歳	31	43	5	5	4	4	2	8	12	5	42	41	21	9	35	4	6	14	291
30～34歳	26	27	13	9	2	9	6	12	11	6	26	28	13	15	31	4	8	13	259
35～39歳	13	18	6	3	2	3	2	8	9	6	16	21	15	4	21	5	1	7	160
40～49歳	21	30	5	7	2	10	4	3	12	5	12	36	13	5	14	5	3	12	199
50～59歳	4	9	3	5	3	2	5	7	3	3	2	15	5	6	4	2	5	3	86
60～69歳	12	8	2	2	4	2	1	6	5	9	4	14	6	6	5	2	10	11	109
70～79歳	7	3	1	2	2	1	2	1	2	3	2	10	1	3	4	3	7	6	60
80歳以上	5	3	0	0	1	0	0	2	1	1	1	7	1	0	2	1	5	1	31
未回答	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	0	1	8
総計	129	153	36	37	21	32	22	51	67	40	125	181	86	54	130	32	47	78	1321

※ は、各年齢の最も多い不満な点。

(10) 子育て世帯の生活していて良かった点・不満な点

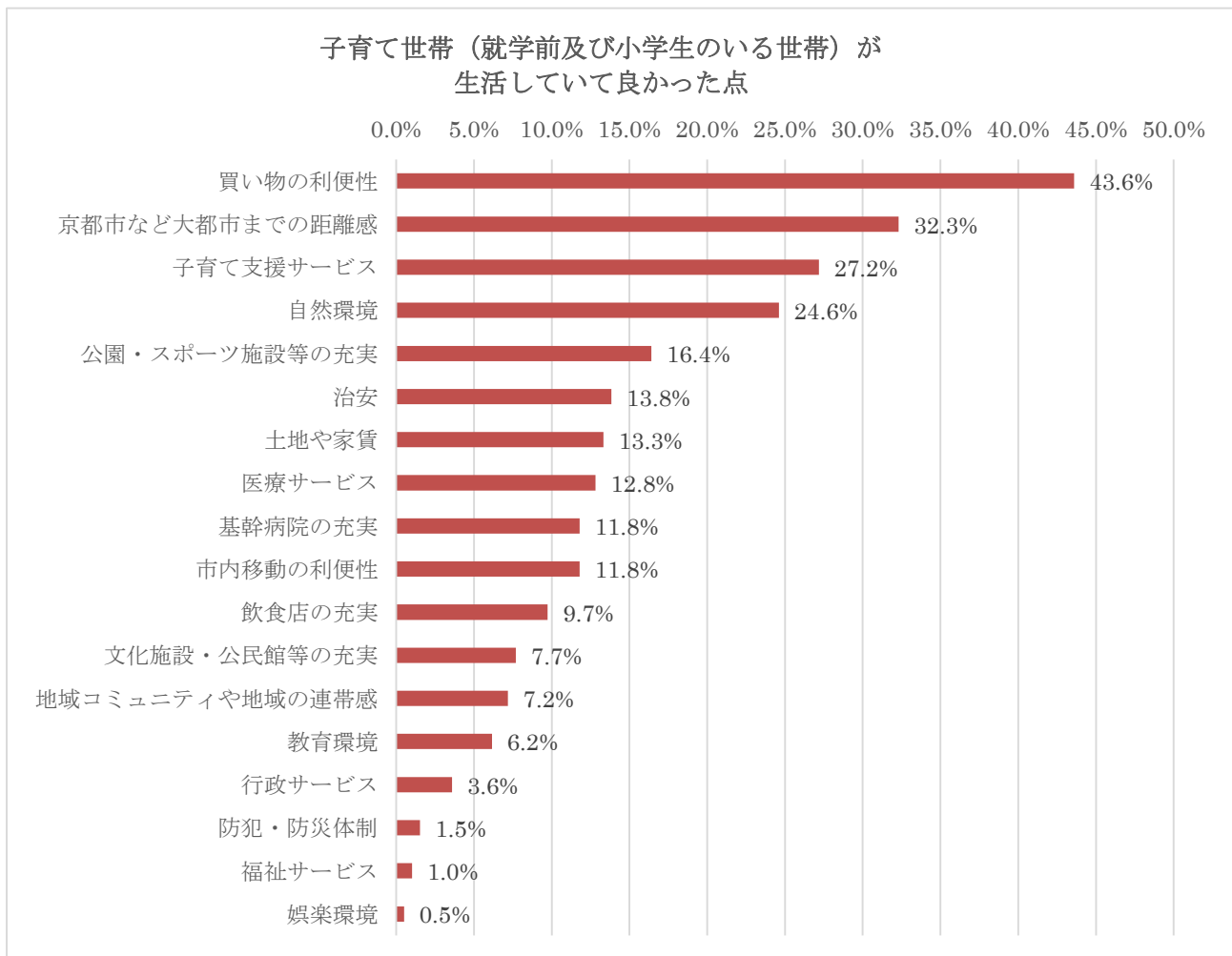
子育て世帯（就学前及び小学生のいる世帯）の転出者が宇治市で生活していて良かった点は「買い物の利便性」が最も多く、次いで「京都市など大都市までの距離感」「子育て支援サービス」の順であった。

一方、不満な点は、「市内移動の利便性」、「治安」が最も多く、次いで「飲食店の充実」であった。

(n=195・複数回答)

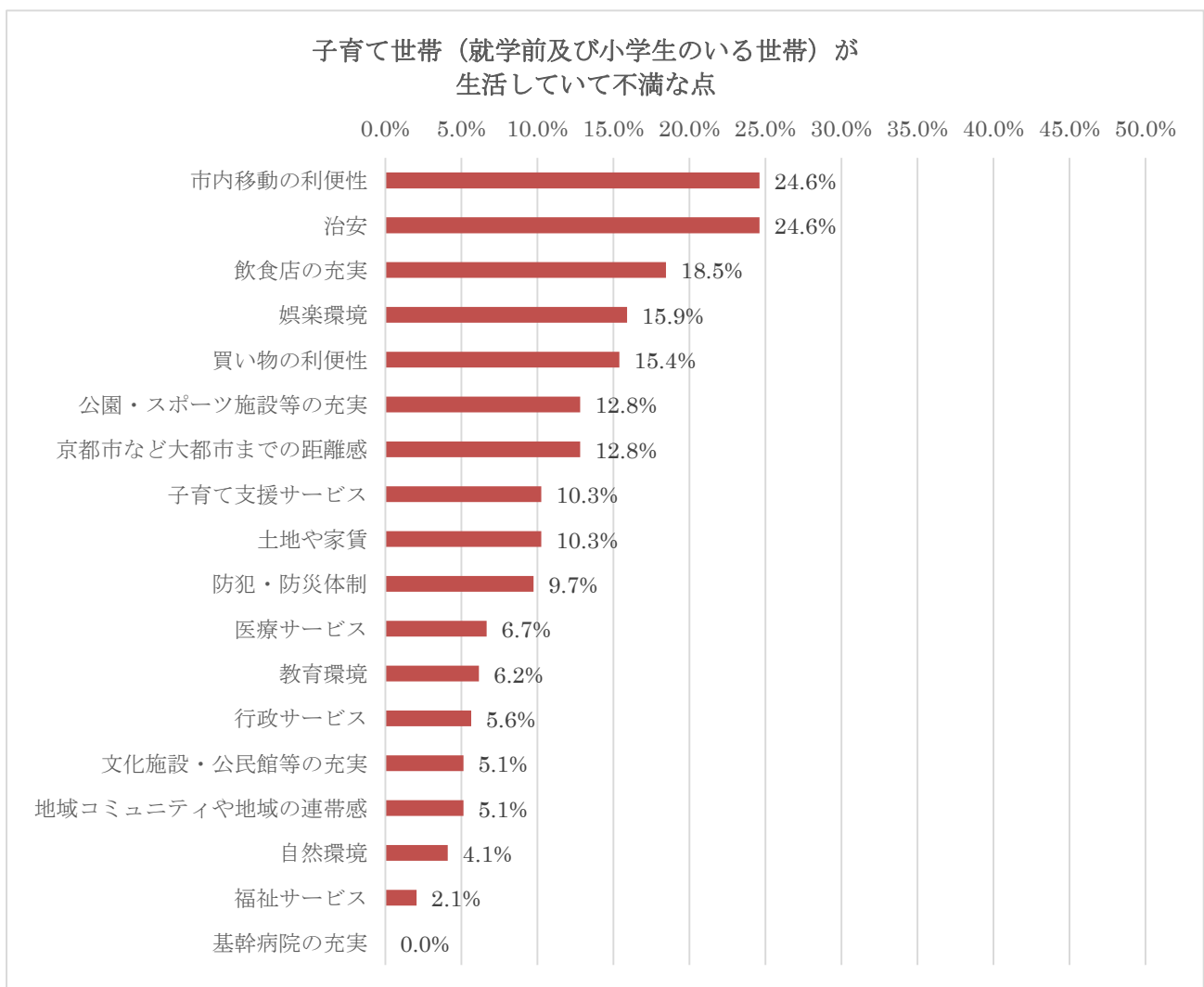
生活していて良かった点 転出者の年齢	買い物の利便性	飲食店の充実	子育て支援サービス	教育環境	基幹病院の充実	医療サービス	福祉サービス	行政サービス	公園・スポーツ施設等の充実	文化施設・公民館等の充実	娯楽環境	市内移動の利便性	京都市など大都市までの距離感	防犯・防災体制	治安	自然環境	地域コミュニティや地域の連帯感	土地や家賃	総計
子育て世帯 (就学前及び小学生のいる世帯)	85	19	53	12	23	25	2	7	32	15	1	23	63	3	27	48	14	26	478

※ は、最も多い生活していて良かった点。



生活していて 不満な点 転出者の年齢	買い物の 利便性	飲食店の 充実	子育て 支援サー ビス	教育環 境	基幹病 院の充 実	医療サ ービス	福祉サ ービス	行政サ ービス	公園・ スポー ツ施設 等の充 実	文化施 設・公 民館等 の充 実	娯楽環 境	市内移 動の利 便性	京都市 など大 都市ま での距 離感	防犯・ 防災体 制	治安	自然環 境	地域コ ミュニ ティや 地域の 連帯感	土地や 家賃	総計
子育て世帯 (就学前及び小学生の いる世帯)	30	36	20	12	0	13	4	11	25	10	31	48	25	19	48	8	10	20	370

※ は、最も多い生活していて不満な点。



IV. まとめ

1. アンケート調査結果の分析

①雇用

転出者の多くが「仕事の都合（就職・転職・退職など）」や「結婚・出産など世帯構成の変動」を転出のきっかけ・理由としています。なかでも転出先として多い京都市や大阪府については、転出のきっかけ・理由として「仕事の都合（就職・転職・退職など）」に加え、「電車・バスなどの交通の便が良い」も多いことから、職場までの距離や通勤の利便性が住まいを決めるうえで重要視されていることが推測されます。

なお、結婚や子育てなど自然増加を促していく要素において、安定した就労環境は重要な条件であることが、京都府の実施した少子化要因実態調査で確認されています。

②住宅

城陽市、京田辺市、木津川市、精華町などへの転出で、転出後の住居形態は「持ち家（戸建て）」が多く、宇治市人口ビジョンでも推測しているとおおり、住宅事情を理由とした京都府南部への子育て世帯の流出が考えられます。なお、現状では、今後本市での大規模な宅地開発は難しいと考えられます。

また、転出入のきっかけ・理由として、「親族との近居・同居」は、比較的高い割合となっていることから、結婚・出産などを機に、親族との近居や同居をされることが推測されます。

③交通

転出者において、宇治市で生活していて不満な点で最も多かったのが「市内移動の利便性」で、24.7%の回答があった一方、良かった点としても14.7%の回答がありました。また、「京都市など大都市までの距離感」については、宇治市で生活していて良かった点で2番目に多く、37.1%の回答があった一方、不満な点としても11.7%の回答がありました。

これらのことから、生活や交通の環境については、年齢や居住地、生活スタイル等によって、差異があると推測できますが、詳細についてはさらなる調査・分析が必要であると考えられます。

④子育て

転出入のきっかけ・理由として、「小学校就学前の子育て環境が良い」「学校の教育環境が良い」の割合は低くなっています。

一方で、転入者がまちづくりで期待することは「子育てしやすいまちづくり」が最も多く、子育て世帯への施策が期待されています。また、子育て世帯の転出者において、宇治市で生活していて良かった点として、「子育て支援サービス」の回答が27.2%あり、本市の子育て支援サービスは、一定評価されていることがわかります。

これらのことから、子育て支援サービスの充実は、転出入先を選ぶ理由という側面よりも、まちの魅力を高め、市民満足度の向上につながるものと推測されます。

2. 今後の地方創生施策の推進について

今回のアンケート調査では、地方創生のさらなる推進と今後の市政運営やまちづくりに活用するため、多くの転出者、転入者の方から転出入のきっかけや理由、本市のまちづくりに関する要望等のご意見・ご回答をいただき、その結果について集計・分析を行いました。

本市では平成27年12月に宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、「確固たる宇治ブランドの確立」「市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生」「まちの魅力を高める都市基盤の整備」「地域経済の活力づくり」「若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり」の5つの基本目標に沿って、様々な施策について取組を進めています。

アンケート調査結果では、仕事の都合が転出入のきっかけ・理由となっているとともに、子育て支援サービスの充実が市民の満足度を高めることにつながると推測されることから、これまでの5つの基本目標に沿った施策の方向性は、人口減少の歯止めに向けた取組として適切なものとなっていると考えられます。

今後は、これまでの地方創生施策についての効果検証を行い、今回のアンケート調査の結果を踏まえ、さらなる安定した雇用創出や、空き家等の活用をはじめとした住宅施策、本市における公共交通体系づくりの検討とともに、引き続き、産業振興や切れ目のない総合的な子育て支援施策など、独創的な戦略や先駆性・実効性のある具体的な施策に取り組み、人口の流入促進と流出抑制の両側面から、人口減少に歯止めをかけ、少子高齢社会においても、持続的に発展するまちを目指し、本市の特色を十分活かした施策について、積極的に取り組んでいきます。

転入アンケート（自由記述）

①インフラ整備

- ・道路が整備されていないことに驚いた。道路事情が買い物や移動の不便さを助長している。
- ・狭くて車通りの多い道路の整備をして欲しい。
- ・歩道がないなど子連れでの移動がとても難しく怖いところが多い。
- ・太陽が丘、文化センターで行事がある時、大混雑で外出さえ嫌になる。抜け道が全くないので、インフラ整備が重要課題。
- ・徒歩や自転車での移動が容易な道路整備をして欲しい。
- ・白線を引き直すなど、歩行者、自転車が安全に通れるようにして欲しい。
- ・道路の拡張。交通量が多い割に道が狭い。
- ・JR黄檗～木幡間の踏切が少なすぎる。
- ・水道水が臭い。
- ・道路が狭いので、電柱を片側のみにし、幅員を広げる工夫が必要。
- ・下水完備ができていないことから、工事が多く不便。
- ・歩道が悪く車いすでの移動が困難。
- ・近鉄小倉から県道へ出る踏切と信号で渋滞するのを改善して欲しい。
- ・歩道の整備をして安全に通学できるまちづくりをして欲しい。
- ・大雨で家の前の道が川のように水がたまり、ガレージの中まで水につかるような排水の悪い道を不衛生なので早く整備して欲しい。
- ・JR奈良線の踏切での長時間交通不通による渋滞発生の解消。
- ・細い道が多いのでガードレールやカーブミラーがもっと増えれば安心して歩ける。
- ・大久保駅南の五叉路が見えにくく、とても怖い。

②まちづくり

- ・大久保駅周辺のにぎわいが欲しい。
- ・駅前の寂れた感じが人口減少を感じる。
- ・河川が汚れている。定期的に清掃し水の流れを良くして欲しい。
- ・公園など休日に子どもと過ごす場所がなく、地域社会とつながるきっかけが少ない。
- ・学校・買い物・交通の便も良く、とても暮らしやすい。
- ・六地藏近辺をもっと活動的な場所として開発すればにぎわいづくりになると思う。
- ・小倉駅が階段の為、ベビーカーで行き来することが困難で地下道を改善して欲しい。
- ・安い家賃で（市の補助）駅周辺のテナント募集し駅周辺の活性化。
- ・道路わきの雑草が気になる。川の中もきれいじゃない。
- ・自然豊かで満足している。文化的な行事が多くて良い。
- ・子どもからお年寄りまでゆっくりできる公園があれば良い。
- ・徒歩で買い物に行ける範囲で商店がないと不便。
- ・地元民が楽しめる活気のあるまちづくりを期待する。商店街の活気が少しさみしい。
- ・歩いて楽しい美しいまちを期待。

- ・ J R宇治駅前再開発の必要を感じる（滋賀県の長浜等を参考にすると良い）。
- ・ ペットにやさしいまちづくりを希望（公園にドッグランなど）。
- ・ 近鉄沿線の駅周辺が衰退してきているように感じる。大型商業施設がない。
- ・ 地域の特性を活かしたまちづくりを期待。
- ・ 公園の環境をもっとよくして欲しい（清掃、遊具の充実等）。
- ・ 宇治橋商店街に樹木を植えるなど、歩きやすいまちにして欲しい。
- ・ 近鉄小倉駅周辺の整備と活性化。
- ・ 黄檗駅にエレベーターを設置していただきたい。駅周辺の整備。
- ・ シルバー世代が散歩、ウォーキングできる公園など、日常の体力維持が日課となるような場所を希望する。
- ・ 大久保駅の空き店舗が本当にもったいない。もっと積極的に誘致活動をして欲しい。
- ・ 駅周辺を禁煙とする条例を定めて欲しい。
- ・ J R六地蔵駅にエレベーターを設置して欲しい。
- ・ 空き家対策。
- ・ 高齢になり、歩いて行けるスーパーがあれば良いと思う。
- ・ 駅周辺に買い物する場所が少ないと感じる。駅周辺をもう少し活性化して欲しい。
- ・ 空き地を有効活用し公園やアスレチック施設へ。
- ・ 宇治橋から東側を望む景色が好きなのだが、整備しすぎないで欲しい。景観が酷くなるのが残念。本物の景観をきちんと残すことが、宇治の財産になる。
- ・ 宇治橋商店街通りの交通量が多い。時間規制できないのか。
- ・ バリアフリー化が遅れている。
- ・ 菟道東隼上り周辺に京滋バイパス側道からつながる道の横断歩道に信号がなく、子どもには絶対渡らないように言い聞かせている。信号がないのであれば横断歩道は付けない方が良いのではないかと思う。

③公共施設

- ・ 土日祝でも対応可能な受付を作るなど、できるだけ市役所での書類の手続きを短くするような工夫が欲しい。
- ・ 公共施設が市役所の周辺だけに偏りすぎている。
- ・ 集会所の管理を市でして欲しい。高齢化のため町内での管理は難しい。もしくは希望者が多く出るよう報酬を増やして欲しい。
- ・ 市役所の休日開庁を強く希望。
- ・ 公園（太陽が丘他）、公共施設（植物公園他）の駐車場の整備と駐車場の無料化

④交通手段

- ・ 伏見桃山、京都駅へのバスをもっと出して欲しい（御蔵山循環バスも）。
- ・ 宇治市内にバスが少ない。
- ・ 小倉駅からバスを運用して欲しい。
- ・ J R奈良線が脆弱なので改善を期待。
- ・ お年寄りの危険運転が商店街では多く見かけるので、ミニバスなどで免許返納キャンペーンな

どを検討して欲しい。

- ・高齢者が病院受診や買物へ行くためのアクセス（交通手段）の低価格な利便性を考えて欲しい。
- ・地域を細かく区切り、コミュニティバスを走らせて欲しい。
- ・JRの複線化。
- ・バスの最終時刻が早すぎる。城陽市との交通の便が悪い。交通機関が不便。
- ・公共交通機関が充実していないので、出かけるときは宇治市へ行くより、京都市に出ることがかなり多い。宇治市内でバス移動を便利にして欲しい。
- ・コミュニティバスなどを増やして欲しい。槇島地区は市役所に行くのに便利が悪い。
- ・バスの便数を増やして欲しい。
- ・JR奈良線の電車の本数増加なども検討して欲しい。
- ・小倉駅から太陽が丘までのバスがあれば良いと思う。
- ・長浜市では「おでかけバス」というバスがあった（有料）。
- ・京都市バスのように高齢者優待券を作って欲しい。
- ・駅までのバスの運行の充実（槇島南落合から向島近鉄駅）

⑤教育・子育て

- ・人口減少、少子高齢化を危惧しているなら、子育て世代の声をもっと聞いて欲しい。
- ・中学校の給食化を実現して欲しい。
- ・図書館を増やして欲しい。休館日を月1回ぐらいにして欲しい。
- ・自家用車がないので、近くに保健師による相談窓口を作って欲しい。
- ・城陽市の文化パークにあるような子どもが遊べる施設があれば良い。支援センターは土日休みのため、土日祝に遊べる場所があれば良い。
- ・小学校のトイレ環境整備。
- ・保育所入所の充実。
- ・宇治川、太陽が丘など子どもが遊びやすい環境があり、医療費の制度もあり、子育てには良いまちです。
- ・もう少し子育てしやすい環境であると、2人目、3人目も考えられる。
- ・子どもに安全なまちづくりをして欲しい。
- ・御蔵山、木幡は子どもが増えており、児童館などもう1つくらいあってもいいのではないか。
- ・駅や近くに子どもが集まれる場がなく、子育てしにくいと感じる。
- ・子ども医療の補助を中学校卒業まで伸ばして欲しい。
- ・児童館がない分、出前ひろば等の子どもの遊び場を増やして欲しい。
- ・保育所の競争率が高い。すべての子どもの受け入れができるようにして欲しい。
- ・図書館に英語の絵本や本を増やして欲しい。
- ・高い教育水準を目指して頂ければ、ずっと宇治市で住みたい。
- ・住まいが伏見区よりなので、検診等の場所を伏見区でも受診できるようにして欲しい。宇治市役所は子連れでは遠くてなかなか行きにくい。
- ・子育ての手当サービスの充実
- ・図書館の開館時間が短い。毎日でなくてよいので、延長して欲しい。

- ・多子家庭に対する支援（第三子保育料無料など）。
- ・小中学校の学習時間を京都市並みにして欲しい。
- ・子ども手当を増やして欲しい。
- ・3人目の保育料を幼稚園と同様に所得制限なしで補助金が出るようにして欲しい。
- ・子育てしやすく福祉にも力を入れられているようで良い場所に来たと思っている。
- ・折居台3丁目と4丁目が菟道小学校になっているが、通学路も悪く危険。
- ・妊婦健診の負担額をもう少し減らして欲しい。

⑥観光

- ・花火大会
- ・宿泊施設が少ないので増やして欲しい。
- ・転入してから一度も宇治川の花火大会を見ていないので復活させて欲しい。
- ・平等院に観光に来る人が参道沿いの店だけでなく、もっと広いスペースでゆっくり休める大型商業施設のフードコートのようなものがあれば長く滞在してもらえらるし、活気づくと思う。
- ・駅前観光整備も含め、外国人の利便性と美しい宇治を伝えて欲しい。
- ・宇治川花火大会をして欲しい。
- ・J R、京阪の宇治駅周辺に観光客の人たちが喜ぶお店がもっとあればと思う。
- ・宇治橋、平等院、宇治上神社あたりがとてもきれいに整備されていて素晴らしい。
- ・市民の観光バスのようなものがあつたらうれしい。

⑦治安・防犯

- ・宇治市南西部の治安改善。
- ・街灯はあるが、暗いところがあるので、間隔をもう少し狭くして欲しいところがある。
- ・街灯をもっとつけたり、防犯カメラを電柱につけるなどして欲しい。
- ・ゴミで汚れると治安が悪くなる事もあるので、たばこ等のポイ捨てを何とかしてもらいたい。
- ・外国人の犯罪に関して厳しく監視して欲しい。
- ・街灯が暗すぎる。
- ・住宅地なのに暗くて怖いので街灯を増やして欲しい。
- ・向島駅周辺が暗いので夜遅くなる時は、道路に車も止まっているので怖い。
- ・J R宇治駅から北口方面が暗くて子どもを安心して歩かせられない。

⑧防災

- ・雨の多い時に川が整備されていないので不安（特に青果市場の近くの川）。

⑨その他

- ・障がい者の医療費の負担金を削減して欲しい。
- ・乳がん検診の対象者が40歳以上というのはどうか（京都市は35歳以上）。急病診療所が16時30分までというのは困る。
- ・トビケラ対策。
- ・公共施設の職員の対応がとても丁寧で良くしてくれる。
- ・尼崎市に住んでいた時、尼崎市いきいき100万歩運動事業「気分爽快貯筋通帳100万歩チャレンジ」（65才以上）という取組があり、参考にしてはどうか。

- ・アンケートの目的が不明。
- ・長期の単身赴任時に収入のない残った家族への課税には疑問を感じる。
- ・知り合いをつくれる場が欲しい。
- ・住民税の減税をして欲しい。
- ・障がい者福祉の充実。
- ・古紙を隔週程度は収集して欲しい。ごみ回収は電池なども簡単に捨てられるのでありがたい。
- ・宇治市に転入するメリットがあれば知りたい。アピールがないのでわからない。
- ・地域によっては、高齢者の割合が非常に高い都市だと感じる。福祉、介護へのさらなるサービス充実を期待。
- ・宇治市に戻ってきたが、暮らしやすいと感じたことはない。
- ・人口が多い割にごみ処理施設が間に合っていない。
- ・宇治市宣伝大使ちはや姫のグッズがあれば良いと思う。
- ・高齢者だけでなく若者が帰ってくるようなまちづくりをして欲しい。
- ・市職員の対応が事務的。
- ・市議会議員の定数削減希望。
- ・猫のフン害が多い。地域の皆が困っているので何とかして欲しい。
- ・久御山町と合併すべき。
- ・スタンプラリーは毎年楽しんでいる。
- ・ごみの分別がずさんなように感じる。できるだけリサイクルにまわすなど工夫した方が良い。
- ・介護保険、国民健康保険どちらも高い。
- ・駅周辺にたくさん路上駐車しているのが迷惑。
- ・自然とまちが近いところが気に入っている。
- ・コンビニでの証書発行など身近な手続きが簡単、迅速にできるように工夫して欲しい。
- ・宇治市の広さに対し、役所の出張所の機能の少なさに驚いた。
- ・スターバックス等の大手チェーン店があると良い。
- ・光熱水費が高く悩んでいる。
- ・アンケート調査は素晴らしい取組だと思う。集計結果やその考察など公表して欲しい。
- ・上下水道料金が他市に比べて非常に割高感がある。ホームページ等ででもいいので、ある程度納得のいく説明が欲しい。
- ・宇治市役所の対応の親切さがとても素晴らしい。子どものいる家庭にも親切でいつも気持ちよく利用している。

転出アンケート（自由記述）

①インフラ整備

- ・下水道の未整備。
- ・道路事情がもう少し良くなれば良いと思う。
- ・道路が狭く地面がボコボコなので整備して欲しい。
- ・テレビで踏切の問題を取り上げた番組を見たが、できるならどうにかしたほうが良い。
- ・近鉄線で渋滞するのが不満。
- ・道路が狭い割に車の通りが多く、歩行には少々怖い思いをした。
- ・道路状況が悪く、車イスなど使いづらい。
- ・水道、下水道、都市ガス等の設置がとても遅かったと思う。
- ・歩道がないところが多く、駅までの道が危なくて嫌だった。
- ・特に黄檗から三室戸の道の安全性を確保して欲しい。
- ・道路が狭く子育てには適さない。
- ・道路が細く狭く歩道と車道がきちんとわかれていない道が多く、歩いたり自転車は怖い。
- ・JR木幡駅から京阪木幡駅の交差点が危ない。
- ・道幅が狭く交通渋滞が多い。
- ・宇治市は歩道があり車に注意することなく散歩できた。
- ・どこへ行くのも帰宅するのも渋滞に巻き込まれ必ず足止めを受ける。

②まちづくり

- ・祭りが多く楽しかった。
- ・働く場所として大企業の誘致などにもっと力を入れて欲しかった。
- ・大きな病院がなくて困った。
- ・静かな環境で住みやすかった。
- ・住み良い所だったが、家賃が高いため引っ越した。
- ・高齢で自動車が使えなくなり、病院や買い物に不便なため転出した。住むのには静かで美しい宇治市が好ましいが残念な気持ちで転居した。
- ・飲食店、娯楽施設、ショッピング施設など少ない。
- ・アニメの舞台になったり、おもしろいアーティストが出てきたりして、とても魅力的なまちになってきた。こういった魅力をもっと発信して欲しい。
- ・大型小売店が急に閉店したため、とても不便。近くにスーパーができることを期待している。
- ・いろいろなお店が集まり宇治マルシェみたいな形で、老若男女が上手に交流できたら魅力あるまちになり人口が増えていくのでは。
- ・宇治市は自然も多く、たいへん住みやすかった。
- ・宇治川の自然を守り続けて欲しい。
- ・宇治川など無駄な工事に費用を使いすぎではないか。法人であればとつくに破綻している。
- ・宇治中心部に行くのにとっても時間がかかり不便。大きな病院は京都市内まで行かなければならなかった。

- ・大都市までの距離はとても良かった。田舎に引っ越したのでとてもうらやましい。
- ・スーパーやデパートの誘致をして欲しい。
- ・仕事場も京都市や大阪市まで出て行かなくてはならない点が不便でした。宇治市に仕事場を作るためにもっとお茶を発展させるのはどうか。
- ・高齢者が暮らしやすいまちづくりをして欲しい。
- ・宇治駅周辺のまちづくりにもっと力を入れたら思う。
- ・シャッターの閉じた店が多く、地元の人にも来たくなくなるような活気のある商店街になって欲しい。
- ・駅前を観光客だけでなく地元の人たちも楽しめるように充実させることができれば、もっとにぎやかになると思う。
- ・街並みが美しくない。橋や公共の建物、歩道橋など塗り直しされず汚い。さびれた感じがある。
- ・抹茶の店が多く散歩に最適。
- ・川の桜をあまり切らないで欲しい。
- ・宇治市は自然豊かでありながら、京都市内へ出るにも便利で近く、とても住みやすいまちでした。
- ・古都を生かしたまちづくりに力を入れて欲しい。
- ・公園など子どもが遊べる場所が少ないと感じる。

③公共施設

- ・西宇治、黄檗体育館の使用料が他の市に比べて高すぎると感じる。
- ・宇治市役所は広くて整然としていてサービスも良かったが町内の近くに支所が欲しかった。
- ・市役所、公園、スポーツ、文化、公民館等が遠くて行くのに不便。
- ・植物公園も京都市より小規模ながら併設するレストランもおいしくて素敵なので、もう少し足を運んでもらえるイベント企画があれば良いのでは。
- ・移動図書館はないのかなと感じた。
- ・宇治の行政機関（市役所・ハローワークなど）が、坂の上で不便。
- ・近鉄沿線に市役所の出張所があれば便利。
- ・スポーツ施設等がもう少しあれば良い。
- ・市役所へのアクセスが不便だった。
- ・近鉄沿線の駅近くに図書館が欲しかった。
- ・市営住宅に入居したくても単身では入れなかったのが残念。

④交通手段

- ・槇島地区の公共交通（バス）の便が悪く老後の買い物等に不安を感じた。
- ・駅までのバスがなく不便だったが、その他特に不満を感じることはなかった。
- ・交通の便が悪い。特に東宇治は不便。バス・電車での移動は大変だった。
- ・バス等の交通や鉄道との連携があれば良かった。
- ・駅まで遠いので老人になった時、老人用巡回バスなど望まれる。
- ・地域のバスが1時間に1本あるかないか程度だったので不便でした。
- ・ほどよく都会で買い物には困らず、また交通の便も良く、車がなくても充実した生活をできた。
- ・宇治市は特にJRが単線で不便すぎて使えない。

- ・地域を巡回する小型バスがあった時は市役所等行くのに便利だったが、今は車を所有していないとどこへ行くのも年寄には不便。
- ・宇治市内移動のためのバスで宇治中心部へ行けるバスがないため、乗り継ぎで高くつく。
- ・JR奈良線の本数が少なくて不満。行き違い列車待ちも長く不便。木幡駅にエレベーターを設置するか改札を2か所にして欲しい。ベビーカーの昇り降りが大変だった。
- ・近鉄とJRが遠い等、交通の便が少し不便。
- ・京都市バスのようにもっとたくさんバスが行き来したり、停留所があればと思う。
- ・乙訓、西京区方面への公共交通網の整備をして欲しい（直通バスの運行）。
- ・市内で仕事があれば、このまま住みたいと思っていたが、大阪への移動のための交通の利便性に欠ける点が転出の理由です。

⑤教育・子育て

- ・宇治市は教育環境も良く、病院も充実していてとても過ごしやすかったが、家を購入するには土地が高くやむを得なく転出した。
- ・保育園の入園状況や働きやすさ、働く場所（大企業の誘致など）にもっと力を入れて欲しかった。
- ・幼稚園、小学校、支援学校の先生方がとても熱心に指導や助言をしてくれたので、身内がいない土地での育児も安心してできた。
- ・小学校の危機管理や給食等は良かった。
- ・現在住んでいるまちは、子どもの医療費が長期間200円なので、宇治市もそうになって欲しい。
- ・つどいの広場や太陽が丘が近くにあったこと、子どもの医療費助成は本当に助かった。
- ・母子手帳のデザインがディズニーで可愛くて良かった。市役所の託児（検診など含む）がとても便利だった。
- ・小中学校の教育や自治体活動には自身の心身の成長にとても良い影響を与えてくれた。
- ・子ども医療制度の医療費が手厚くありがたかった。転居先では3歳から医療費が上がったのでびっくりした。
- ・京都市と比べて子育てや高齢者福祉サービスの水準は高いと思う。
- ・病児保育のある小児科があったので子育てしながら働けた。
- ・子どもが住みやすい、子育てがしやすい、保育園に入りやすい等、子どもをもっと産める環境にしないといけないと思う。
- ・子育て、自然環境面でも本当に良いまちだと思う。
- ・他府県他市は子育て支援サービスが充実していて若い夫婦世帯にとっては魅力的です。
- ・待機児童がなくなると良いと思う。
- ・学童保育の指導員がひどい
- ・子育て支援サービスにどんなものがあるのかよくわからず利用できなかった。出産直後と1歳などで必要なものが違うので教えて欲しかった。
- ・宇治市は京都府のなかでも子育て支援に力が入っており、充実していたと実感しました。自然豊かで文化施設もあり、これから子育てするにはとても良い環境であったため、離れることになり残念に感じている。
- ・乳幼児を連れて出かける際、ベビーベッド付トイレやおむつ交換できる場所が少なく不便。

⑥観光

- ・商店街も以前は閑散としていたが、色々な店ができて観光客も楽しんでいるのでは。
- ・平等院、あじさい寺、ホテルなど見所がたくさんあってとても楽しく過ごせた。
- ・宇治の花火大会を復活させて欲しい。
- ・観光地も点在していて観光客も少ない。
- ・宇治の花火がなくなったのは残念。
- ・宇治川花火大会を楽しみにしているので再開して欲しい。
- ・観光都市のイメージ良。
- ・自然環境、世界遺産等が多いのもっと観光客を集めるよう催しを考えて欲しい。
- ・観光にもっと力を入れるべき。
- ・宿泊施設が少ない。
- ・意外と平等院が宇治市にあることが知られていない気がする。

⑦治安・防犯

- ・大久保駅周辺の道が暗く、周辺の雰囲気も少し怖く感じるがあった。
- ・治安が悪すぎる。
- ・高松市と宇治市双方の防災アラートを登録しているが、宇治市の不審者情報の多さは比にならないくらい多い。
- ・環境は静かで治安の心配もなく、とても住みやすかった。
- ・治安の悪さが転居に至る一番の理由です。
- ・夜道が暗いので、街灯を増やして欲しかった。

⑧防災

- ・数年前の洪水被害等があったにも関わらず防災意識が低いように思われる。
- ・黄檗断層地震が怖い。宇治市にとどまりたいという特に魅力はない。
- ・弥陀次郎川の決壊、木幡池が溢れる寸前、宇治川も危険水域の中、外に出られずを経験し、好んで住む場所ではないと思い離れました。
- ・ハザードマップはとても参考になり良かった。

⑨その他

- ・宇治市の大型ごみ回収システムが大変良かった。また、不燃物等のゴミが出しやすくてありがたかった。
- ・市民税が高かった。
- ・宇治市では太陽が丘などで犬を連れて行けないのが残念。
- ・転出してみて本当に宇治市は良いところだったと実感している。
- ・ちはや姫の目つきが怖い。
- ・笠取、二尾、池尾地域の人口流出をなんとかして欲しい。若者には不便すぎる。年寄になれば車がないと生活できない。
- ・湯浅町の空き家移住者に応募第一号。旧市内に住めば違った感想を持ったかもしれないが、40年暮らしたが愛着を持てなかった。一時的な施策や公的な建物の乱立ではなく、100年、200年先を思う「人の育み」を支えて欲しい。利便性だけでは住みません。

- ・住宅地を新たに探す場合、ある程度限られている。
- ・宇治川沿いの道は散歩コースで子どもたちも好きな場所でした。
- ・市役所の窓口の方は対応が良く手続きがスムーズだった。これからもすばらしい対応を続けてもらいたい。
- ・自然環境はあまり壊して欲しくない。
- ・木津川市は宇治市より広い家に住め、大阪へも行きやすいが、家が広ければ宇治市にいたいと思う。
- ・母子の住める団地が少ない。団地の場所が不便。
- ・人口が多い割にはまちや人に活気がない。連帯感やまちへの愛着も薄い。
- ・最近若い人たちによって、色々な行事などがされていて良くなってきており、宇治市の特徴が生かされたまちになることを望んでいる。
- ・今まで住んだどこよりも水道代が高くて驚いた。
- ・いろいろなアピールがうまくいっていないように思い残念。
- ・高齢者の畑の利用（抽選）は高齢者には楽しみであった。
- ・地方都市は自力で行政をまかなえることを考えて欲しい。
- ・歴史のプライドのみに縛られ、新しく自由で市民が過ごしやすい発想がない。
- ・宇治市に愛着は持っているので、定年後などいずれは帰ってきたい。
- ・京のテイストを前面に出してくるのが好きじゃない。
- ・抹茶ブームで知名度は高いと思う。
- ・全体的に住民の年齢層が高く活気がない。
- ・宇治の名産物があり良かった。
- ・宇治川周辺の虫が大量発生していて窓が開けられなかった。

宇治市転入に関するアンケート調査 ご協力のお願い（調査票）

宇治市では、皆様の転入のきっかけを把握し、今後の市政運営やまちづくりに活用するため、アンケート調査を実施しています。ご多忙のこととは存じますが、ご協力くださいますようお願い致します。

※このアンケートは無記名で行い、調査結果は統計的に処理した上で活用することとし、回答いただいた方の個々のプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ございません。また、回答いただいた調査票を本調査の目的以外に使用することはありません。

※お答えいただける範囲でご回答ください。

※選択肢の中からあてはまる番号を選び、○で囲んでください（一部、記述式の設問もあります）

1. あなたの性別は

()

※性同一性障害などの方たちの人権問題を意識していますが、この調査では男女の意識や行動の違いを把握する必要があるためお伺いしています。

2. あなたのご年齢は（○は1つ）

1. 20歳未満	6. 40～49歳
2. 20～24歳	7. 50～59歳
3. 25～29歳	8. 60～69歳
4. 30～34歳	9. 70～79歳
5. 35～39歳	10. 80歳以上

3. あなたのお仕事は（○は1つ）

1. 会社員・公務員	4. 学生
2. 自営業	5. 無職（家事専業など）
3. パートタイマー・アルバイト	6. その他（)

4. 転入後の家族構成は（○は1つ）

1. 単身世帯
2. 1世代世帯（夫婦だけ）
3. 2世代世帯（親と子）
4. 3世代世帯（親と子と孫）
5. その他（)



●ご世帯にお子さんがいらっしゃる場合、次のどれにあてはまりますか（該当のもの全てに○）

1. 就学前	5. 短大・大学・大学院・高専・専門学校
2. 小学校	6. 社会人・アルバイト等
3. 中学校	7. その他（)
4. 高等学校	

5. 転入前後のお住まいの地域は

●転入前	●転入後
都道府県	宇治市（)
市(区) 町村	例：広野町

6. 転入先として、宇治市や宇治市以外のまちを検討しましたか（○は1つ）

1. 他のまちは検討せず、宇治市内だけで探した
2. <u>他のまち</u> も検討したが、宇治市に決めた
具体的には？（複数選択可） [1. 京都市 2. その他（)

【裏面もご記入をお願いします】

宇治市転出に関するアンケート調査 ご協力のお願い（調査票）

宇治市では、皆様の転出のきっかけを把握し、今後の市政運営やまちづくりに活用するため、アンケート調査を実施しています。ご多忙のこととは存じますが、ご協力くださいますようお願い致します。

※このアンケートは無記名で行い、調査結果は統計的に処理した上で活用することとし、回答いただいた方の個々のプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ございません。また、回答いただいた調査票を本調査の目的以外に使用することはありません。

※お答えいただける範囲でご回答ください。

※選択肢の中からあてはまる番号を選び、○で囲んでください（一部、記述式の設問もあります）

1. あなたの性別は

()

※性同一性障害などの方たちの人権問題を意識していますが、この調査では男女の意識や行動の違いを把握する必要があるためお伺いしています。

2. あなたのご年齢は（○は1つ）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 6. 40～49歳 |
| 2. 20～24歳 | 7. 50～59歳 |
| 3. 25～29歳 | 8. 60～69歳 |
| 4. 30～34歳 | 9. 70～79歳 |
| 5. 35～39歳 | 10. 80歳以上 |

3. あなたのお仕事は（○は1つ）

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 会社員・公務員 | 4. 学生 |
| 2. 自営業 | 5. 無職（家事専業など） |
| 3. パートタイマー・アルバイト | 6. その他（) |

4. 転出後の家族構成は（○は1つ）

1. 単身世帯
2. 1世代世帯（夫婦だけ）
3. 2世代世帯（親と子）
4. 3世代世帯（親と子と孫）
5. その他（)



●ご世帯にお子さんがいらっしゃる場合、次のどれにあてはまりますか（該当のもの全てに○）

- | | |
|---------|----------------------|
| 1. 就学前 | 5. 短大・大学・大学院・高専・専門学校 |
| 2. 小学校 | 6. 社会人・アルバイト等 |
| 3. 中学校 | 7. その他（) |
| 4. 高等学校 | |

5. 転出前後のお住まいの地域は

●転出前

宇治市（)
例：広野町



●転出後

都道 市(区)
府県 町村

6. 転出先として、宇治市や宇治市以外のまちを検討しましたか（○は1つ）

1. 宇治市内は検討しなかった
2. 宇治市内も検討したが、他のまちに決めた

【裏面もご記入をお願いします】

